記録・報道/障害関係（ＤＡ）

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2010-001	カラフル！千恵のまいにち日っき	ＮＨＫ 厚生文化事業団	15	2009/06/18
利用区分				
A−3	としおか千恵ちゃんは小学生の女の子。学校であったできごとを毎日日記に書いている。友だちのこと、先生のこと、お勉強のこと。学校で友だちとけんかをしても、次の日には笑顔で仲直り。ダウン症の女の子の生活の一コマを送る。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2010-002	福祉ネットワーク 受け容（い）れる勇気をもって	ＮＨＫ 厚生文化事業団	29	2009/05/25
利用区分				
A−3	奥田哲生さん(４１歳)は、車いすで生活しながら自宅で塾を開いている。奥田さんは２８歳でギラン・バレー症候群を発症し手足の自由を失った。突然障害者となった自分を受けいれることができず、家に引きこもりがちだったが、笑顔を取り戻すきっかけとなったのは、塾の生徒たちとの交流だった。奥田さんと生徒たちとの交流の日々を追う。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2010-003	きらっといきる “すれ違い”から はじまったけど・・・	ＮＨＫ 厚生文化事業団	29	2009/04/17
利用区分				
A−3	大学３年生の大畑明子さんは、生まれつき耳が聞こえない。大学でスポーツ行動学を勉強している明子さんは、「卒業後は、子どもたちにスポーツを教えたい」と考えている。スポーツクラブでの実習に臨んだ大畑さんの姿を追う。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2010-004	ハートをつなごう ＮＨＫ障害福祉賞（１）	ＮＨＫ 厚生文化事業団	29	2009/12/07
利用区分				
A−3	４４回目を迎えたNHK障害福祉賞。今回は、４５５編の作文が寄せられた。番組では、その中から２名の作品を取り上げ紹介する。１日目は、小山田弘佑さん（２８歳）。小山田さんは軽度の知的障害があり、そのために長年いじめを受けていた。また十代で母親が病死するというつらい体験をしたこともあって、２０歳を越えたころから自殺未遂を繰り返すようになった。そんな彼が、作文を書くことで自分と向き合い、立ち直ってきた体験を語る。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2010-005	ハートをつなごう ＮＨＫ障害福祉賞（２）	ＮＨＫ 厚生文化事業団	29	2009/12/08
利用区分				
A−3	ＮＨＫ障害福祉賞を紹介する２日目。三重県の岡田くめ子さんは統合失調症の娘・彩さんとの闘病についてつづった。彩さんは親のすすめで進学した大学が自分に合わず心を病んでしまった。病気をきっかけに娘の心と向き合ったくめ子さんは、「娘を最高の回復者第１号にしよう」と決意。やがて彩さんは回復し、自分が大好きだった本にかかわる仕事・図書館司書に就くまでになる。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2010-008	ろうを生きる難聴を生きる シリーズ・被爆を語る ～聞こえない人と情報について考える～①	ＮＨＫ	15	2008/07/27
利用区分				
A−3	長崎の山崎榮子さんは原爆被爆者。平和祈念式典では、迫真の手話で被爆の恐ろしさ、平和の誓いを訴えた。疎開先で原爆投下の８月９日を迎えた山崎さんは、その日の夕方爆心地に入り被爆した。被爆と同時に長らく山崎さんを苦しめたのは、ろう者であるが故に情報から閉ざされ、真実を知るのが遅くなったことだ。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2010-009	ろうを生きる難聴を生きる シリーズ・被爆を語る ～聞こえない人と情報について考える～②	ＮＨＫ	15	2008/08/10
利用区分				
A−3	山崎榮子さんを迎える２回目。長崎で被爆した山崎さんは、その後１年間も原爆のことを詳しく知らず、普通の爆弾だと思っていたという。聞こえる両親のもとに生まれた山崎さんに、事実を手話で話してくれる人がいなかったためだ。山崎さんは情報から疎外されていたことに今も悔しさを感じているという。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2010-021	新春ヒューマンドラマスペシャル 筆談ホステス	毎日放送	93	2010/01/10
利用区分				
B−3	銀座でナンバーワンホステスの斉藤里恵さん。彼女は耳が聞こえない。しかしその障害を乗り越えるために始めた筆談が客の心をつかみ癒している。 彼女がナンバーワンホステスになるまでの道のりをドラマで再現する。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2010-040	石橋勝のボランティア２１ 手話狂言で伝えるメッセージ ～西川慧子さんの挑戦～	テレビ大阪	25	2009/02/13
利用区分				
B－3	日本が誇る古典芸能のひとつ「狂言」。主として科（しぐさ）と白（せりふ）によって表現されるこの芸能に挑戦を続けているのが西川慧子さんです。 実は西川さんは聴覚に障害があります。彼女たちが演じているのは、手話で台詞を語る手話狂言なのです。 「聞こえないことは個性」そう語る西川さん。 35年も前、地元で初となるボランティアサークルを立ち上げ、手話の普及に尽力。今も彼女を支える人々とともに、障害がある人たちのために幅広い活動を続けています。（テレビ大阪HPより）			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2010-041	ヒューマンドキュメンタリー “私の家族”	ＮＨＫ 厚生文化事業団	43	2010/05/07
利用区分				
A－3	小学生と中学生の３人の子どもを育てるある一家。家族の間に血のつながりはない。子どもに恵まれなかった夫婦は１５年前、ＮＰＯを通じて生後数か月の赤ちゃんと特別養子縁組を行い、さらに２人を迎え育ててきた。子どもたちには産みの親が別にいることを隠さず伝えてきたが、最近１２歳の長女が「産みの母に会いたい」と言い始めた。親子とは？家族のきずなとは何なのか?子どもが成長の節目を迎えた家族の姿を通して見つめる。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2010-042	福祉ネットワーク うちの子どもは世界ー ぼくと音楽のたのしい関係	ＮＨＫ 厚生文化事業団	29	2010/01/27
利用区分				
A－3	小柳拓人さん（１６歳）は自閉症で落ち着きがなく集団行動や、家族とのコミュニケーションがうまくいかなかった。５歳で音楽教室に通わせると通常、子どもが苦手とする「同じことを反復練習する」などといったことがピタリとはまりみるみる上達。音楽を通して場面に応じた行動をすることを次第に身につけていく。拓人さんの日常を紹介しながら、同世代の若者たちや自閉症や発達障害について正しく理解し、一人一人の個性を大切に生きるということを考える。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2011-001	福祉ネットワーク シリーズ地域からの提言（1） 地域みんなで子どもを育てる	ＮＨＫ 厚生文化事業団	29	2010/03/29
利用区分				
A－3	新潟県上越市では１０年以上前から市営の保育園「ファミリーヘルプ保育園」を開設。「土日だけ預かって欲しい」、「急な仕事が入った時だけ預かって欲しい」といった、従来の行政が対応しきれなかった市民のさまざまなニーズに応えている。しかも２４時間の受け入れが可能なので、緊急時など母子がいつでも駆けこめるセーフティーネットとしても機能してきた。また、住民との連携にも注力していて、子育てする母親たちが作るNPO“マミーズ・ネット”と情報交換を行い、ベビーベッドが充実した施設を作ったり、父親や企業に子育てを理解してもらうための企業研修を支援したりしている。どうしてこのようなユニークで効果的な対策が実現できるのか、財政学者の沼尾波子さんが検証する。（ＮＨＫＨＰより）			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2011-002	ハートをつなごう 「若者のこころの病」（1）	NHK 厚生文化事業団	29	2010/06/30
利用区分				
A−3	統合失調症、うつ病など、心の病の多くは若いころにその芽があると言われ、早期に支援することの有効性は、精神医療界の世界的なトレンドになっています。そこで、「若者のこころの病」を2回にわたって見つめます。前回２００９年１２月８日放送の『ハートをつなごう　ＮＨＫ障害福祉賞（２）』（ＤＡ2010-005）に出演し、放送後大反響だった岡田彩さんが再出演されます。 第1回は彩さんの軌跡を振り返りながら、若者がこころの病を発症する背景に何があるのか？ そしてどうサポートしていけばいいのか？ 当事者の悩みや思いをじっくりと語り合い			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2011-003	ハートをつなごう 「若者のこころの病」（2）	NHK 厚生文化事業団	29	2010/07/01
利用区分				
A−3	統合失調症、うつ病など、心の病の多くは若いころにその芽があると言われ、早期に支援することの有効性は、精神医療界の世界的なトレンドになっています。そこで、「若者のこころの病」を２回にわたって見つめます。第２回では、第１回に続き、岡田彩さんと中心に、孤立しがちな若者たちが“つながる”ことの大切さとその意味について語り合います。彩さんが参加する“ありのままクラブ”には同様の障害を持つ若者たちが集います。“ありのままクラブ”に通う二人の“うつ病”男性がスタジオで本音トークを繰り広げます。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2011-004	ＥＴＶ特集 思い出の街が甦（よみがえ）る ～写真家・井上孝治の世界～	NHK 厚生文化事業団	59	2011/03/20
利用区分				
A−3	昭和３０年頃の街と人々の暮らしを撮った井上孝治さん（大正８年～平成５年）。生涯、カメラ店を経営する傍ら写真を撮り続けたアマチュアカメラマンで、１８年前に７４歳で亡くなるまでに３万枚の写真を残しました。井上さんは、幼いときの事故が原因で耳が不自由でした。話すことはできませんでしたが、人なつっこい性格で、特に子どもたちと仲良くなり写真を撮っていたといいます。音のない世界で、時代と風景を見つめ続けていました。その写真には、めまぐるしく移り変わる時の中で、わたしたちが置き忘れてきたものが写し出されています。写真作品と、残された日記、そして家族・関係者の証言などから、井上孝治さんの生涯をたどります。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2011-005	きらっといきる マンガで伝えたい　ろうの世界 ～聴覚障害・松谷琢也さん～	NHK	29	2010/02/12
利用区分				
B−3	奈良県に住む松谷琢也さんは生まれたときから耳が聞こえない。松谷さんは日々の生活の中で感じているろう者と聞こえる人との文化の違いをマンガでユーモアたっぷりに描く。松谷さんの伝えたいろう者の世界とは・・・。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2011-006	きらっといきる いつも手と手をつないで ～全盲ろう　山口隆雄さん・幸子さん夫婦～	NHK	29	2010/07/02
利用区分				
B−3	目が見えず耳も聞こえない全盲ろうの山口孝雄さんと妻の幸子さん。会話は互いに手と手を取り合って行う触手話という方法で行っている。手と手で絆を深め、毎日をいきいきと過ごす夫婦の姿を紹介する。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2011-007	福祉ネットワーク １０５歳　最期の日々をわが家で ～香川　在宅ケアへの挑戦～	NHK	29	2010/02/24
利用区分				
B−3	香川県に暮らす１０５歳の小佐古シケノさんは、自宅で家族に見守られながら亡くなった。シケノさんの唯一の同居人の息子・浩さんも病気を患っていたが、町の診療所の医師やヘルパーに支えられ母親の最期をみとることができた。シケノさんが亡くなるまでの生活を追う。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2011-008	福祉ネットワーク　　この人と福祉を語ろう わたしと難聴と京都の関係 エッセイスト麻生圭子さん	NHK	29	2010/03/08
利用区分				
B−3	香川県に暮らす１０５歳の小佐古シケノさんは、自宅で家族に見守られながら亡くなった。シケノさんの唯一の同居人の息子・浩さんも病気を患っていたが、町の診療所の医師やヘルパーに支えられ母親の最期をみとることができた。シケノさんが亡くなるまでの生活を追う。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2011-009	福祉ネットワーク　　シリーズ 支援が必要な子どもたちへの教育 第１回“インクルーシブ”な教育	NHK	29	2010/06/09
利用区分				
B−3	２００６年に国連で採択された障害者権利条約。この条約の批准に向けて、国内でさまざまな取り組みが始まっている。インクルーシブな教育とは、障害者が自分が住む地域で、健常者と共に教育を受けること。長野県中野市の取り組みを紹介しながら、障害を持つ子供たちへの教育について考える。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2011-010	福祉ネットワーク “盲ろう者” 生きる意欲につながる支援	NHK	29	2010/09/06
利用区分				
B−3	２００９年、東京に全国初の盲ろう者支援センターが開設した。全国に２万人といわれる盲ろう者に対して触手話などのコミュニケーション訓練をはじめ、調理などの生活訓練も行い、盲ろう者の自立や社会参加を広がることがと期待されている。孤立して暮らす盲ろう者の実態を調査し、適切な支援につなげていく試みを進めるセンターの活動を紹介する。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2011-011	福祉ネットワーク 公開すこやか長寿 太極拳に学ぶ・柔らかな足腰の動き	NHK	29	2010/09/16
利用区分				
B−3	栃木県那珂川町から、高齢者と学ぶ健康体操教室を送る。テーマは太極拳。深い呼吸とゆったりした動きの太極拳は、高齢者にもできる健康づくりだ。「調心」「調息」「調身」をキーワードに、すぐできる簡単なプログラムを紹介する。講師は日本健康太極拳協会の皆さん。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2011-012	ろうを生きる難聴を生きる サーキットに夢を託して～４時間耐久 レースに挑む聞こえないライダーたち～	NHK	15	2009/10/04
利用区分				
B−3	全国のライダーたちにとってあこがれの舞台とも言える鈴鹿サーキットで、聴覚障害者で組織されたチームが注目を集めている。メンバーは西尾政紀さんを中心とする近畿一円に住む約１０人。彼らをひきつけるのは「風を切る快感」。当初は聴覚障害者の出場は危険と参加を渋る主催者と粘り強く交渉し、ようやく挑戦が実現した。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2011-013	ろうを生きる難聴を生きる デフアートに希望を託して	NHK	15	2009/10/18
利用区分				
B−3	乗富秀人さんは手話をモチーフに手を描き続ける画家。ろう学校専攻科でデザインを学んだ後フランスの美術専門学校で油絵を学んだ。帰国後は風景画家として絵を描き続け受賞歴も多い。そんな乗富さんが５年ほど前に風景画をぴたりと止め、みずから「デフアート」と位置づけて「手」を描き続けるようになる。作品を通して、そこに込められたメッセージを紹介していく。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2011-014	ろうを生きる難聴を生きる 第２言語・日本手話 ～関西学院大学の“挑戦”～	NHK	15	2009/11/01
利用区分				
B−3	関西学院大学人間福祉学部では去年から「日本手話」を第２外国語科目とした。全国初のこの試みがほかの大学にも波及すれば、言語としての手話の認知、ひいては社会での手話のさらなる普及にむけて追い風になると期待されている。大学の試みを紹介する。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2011-015	ろうを生きる難聴を生きる 新宿居酒屋店主 ～ど根性１０年の歩み～	NHK	15	2009/11/15
利用区分				
B−3	東京新宿で１０年前にろうの男性が開いた居酒屋が今も満員盛況の毎日が続く。店主は吉岡富佐男さん。１０年続いた最大の理由は、聞こえない人だけでなく聞こえる人も大勢店に通い続けたことである。接客術、料理へのこだわり、店の雰囲気作り…「１０年」の秘密に迫る。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2011-016	ろうを生きる難聴を生きる 人工内耳・心のケア ～「遊びクラブ」が目指すもの～	NHK	15	2009/11/29
利用区分				
B−3	人工内耳は音の情報を電気信号に変え直接脳の聴神経を司る部分に送ることで聞こえを得る治療法である。しかし、期待された効果がなかなか出ないケースもあるなど治療結果には個人差が大きいことも浮き彫りになってきた。こうした中で重要性が指摘されているのがメンタル面のサポート、それも同じ悩みを知る人同士の自助活動が大きな力になる。人工内耳治療のメンタルサポートの重要性について考える。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2011-017	ろうを生きる難聴を生きる 情報保障の可能性を広げよう ～字幕付与技術シンポジウム2009から～	NHK	15	2009/12/13
利用区分				
B−3	京都大学学術情報メディアセンターが主催して開催された「聴覚障害者のための字幕付与技術」シンポジウム２００９。 注目を集めた技術のひとつが、携帯ゲーム機や携帯電話に字幕を提供する技術。また、会場では、学術情報メディアセンターの河原達也教授たちが開発している自動音声認識システムＪｕｌｉｕｓを使ってリアルタイムで字幕を制作する実演も行われた。このふたつの技術を中心に、字幕付与技術の最新情報を伝える。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2011-018	ろうを生きる難聴を生きる 今医療手話を考える	NHK	15	2009/12/27
利用区分				
B−3	全日本ろうあ連盟は今月「医療の手話シリーズ・第３巻　保健指導編」を出版した。連盟ではこれまで医療関係者も交えた制作委員会を作り病気や治療法に関係した手話表現の制作に当たってきたが、これでそうした手話がほぼ完成したことになる。医療関係者、聞こえない人は「医療手話」とどう向き合ったらよいのか考える。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2011-019	ろうを生きる難聴を生きる 今震災体験を語る ～永江眞樹さん～	NHK	15	2010/01/10
利用区分				
B−3	神戸市に住む永江眞樹さんは１５年前の阪神大震災を経験、その体験記をこのほど出版した。「阪神大震災・聴覚障害を持つ主婦の体験」は永江さんが一家四人で体験した震災と避難生活をつづったものである。被災時に聴覚障害者がどんな体験に直面したか、改めて検証する。。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2011-020	ろうを生きる難聴を生きる 意外に多い！？ ろう者と聴者　日本語のズレ	NHK	15	2010/01/24
利用区分				
B−3	「手話と音声言語」というコミュニケーション手段の違いから意志疎通に困難を生じる健聴者と聴覚障害者だが、微妙なニュアンスの違いからも、さまざまなトラブル、誤解が発生する。そうした用例を集めた本、「ろう者のトリセツ聴者のトリセツ～ろう者と聴者の言葉のズレ～」が出版された。数々の日本語の解釈のズレを実例に、互いをよく理解するためにどうしたら良いのか考える。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2011-021	ろうを生きる難聴を生きる ぼくと“おしゃべり”をしようよ イラストレーター・門秀彦さん	NHK	15	2010/02/07
利用区分				
B−3	門秀彦さんはイラストレーターとして活躍するコーダ（聴覚障害の両親を持つ健聴の子ども）。手話を表す手をモチーフにした作品を描き続けてきた。門さんが今力を入れるのが絵の持つ「発信力」に聞こえない子どもたちにも気づいてもらい、描く楽しさを知ってもらうこと。描くことで周囲とかかわる自信をはぐくんでもらい成長してほしいと願う。親の障害をみずからの創作エネルギーに変え、作品作りに取り組む、その姿を追う。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2011-022	ろうを生きる難聴を生きる 夢は七大陸最高峰制覇 ～大窪康之さん～	NHK	15	2010/02/21
利用区分				
B−3	大窪康之さんは七大陸の最高峰制覇に挑戦中のろう者。大窪さんはこれまでアフリカ最高峰キリマンジャロ（５８９５メートル）、オーストラリア最高峰コジアスコ（２２３２メートル）、南極最高峰ビンソンマシフ（４８９７メートル）の登頂に成功しており、今回南米最高峰のアコンカグア（６９６０メートル）の登頂に成功した。アコンカグアで直面した困難、そしてチョモランマへの思いを聞く。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2011-023	ろうを生きる難聴を生きる 「手話で笑いを届けたい」 ～２人で挑んだ創作手話落語～１	NHK	15	2010/03/07
利用区分				
B−3	手話落語研究会「笑草会」（埼玉県草加市）は結成２０年を迎え２月２８日に記念公演を行った。代表の飯田勝巳さんはこれまでの集大成ともなる本格的な創作手話落語に挑む。強力な助っ人として台本（ネタ）の作成に取り組むのは、かつて多くのお笑い番組の脚本作りを手がけた中途失聴者の宮田和実さん。聞こえない人による、聞こえない人のための本格的創作落語にかける２人の姿を追う。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2011-024	ろうを生きる難聴を生きる 「手話で笑いを届けたい」 ～２人で挑んだ創作手話落語～２	NHK	15	2010/03/14
利用区分				
B−3	手話落語研究会「笑草会」（埼玉県草加市）が開催した、２０周年記念公演のダイジェスト。宮田和実さんの作った創作落語「聾訪（ろうほう）」を、「笑草会」代表の飯田勝巳さんが演じる。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2011-025	ろうを生きる難聴を生きる 聞こえる人とのかけ橋に	NHK	15	2010/04/04
利用区分				
B−3	２０１０年３月、新潟市で「しゅわる映画祭」が開かれた。聞こえない人も聞こえる人もともに同じ映画を楽しんでもらい、手話に関心を持ち手話を使う（しゅわる）人を増やすことを目的にした映画祭だ。映画祭を企画したのは、手話の普及をめざして活動する団体・手話レクチャー「ハンズ」。代表の小池卓さんが映画祭の運営委員長を務める。「聞こえない人と聞こえる人のかけ橋になりたい」と願う小池さんに、その思いを伺う。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2011-026	ろうを生きる難聴を生きる 必要な人に必要なサービスを ～障がい者制度改革推進会議～	NHK	15	2010/04/18
利用区分				
B−3	総理大臣を本部長として設置された「障がい者制度改革推進本部」の下部組織、「障がい者制度改革推進会議」が、２０１０年１月からスタートした。障害のある当事者や有識者が参加して、障害者基本法の改正や、あらたな総合福祉法（仮称）の制定などに向けて議論を進めている。会議の構成員の１人、全難聴常務理事の新谷友良さんに、障がい者制度改革推進会議における議論について解説していただく。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2011-027	ろうを生きる難聴を生きる “盲ろう者” 生きる意欲につながる支援	NHK	15	2010/05/02
利用区分				
B−3	２００９年５月、盲ろう者の自立や社会参加の支援を目的に、東京都盲ろう者支援センターが開設された。東京都の補助を受けてＮＰＯ法人東京盲ろう者友の会が運営するもので、全国初めての取り組みだ。センターでは、料理、スピーチ、ウオーキングなどを通して、家に閉じこもりがちな人たちの社会参加を促進する事業を実施している。開設１年の東京都盲ろう者支援センターの取り組みを通して、盲ろう者を支援するサービスのありかたを考える。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2011-028	ろうを生きる難聴を生きる 電話リレーサービス普及のために	NHK	15	2010/05/16
利用区分				
B−3	電話リレーサービスは、聞こえない人と聞こえる人がリアルタイムで会話することを可能にするサービス。聞こえない人は、パソコン上で文字を打ったり、テレビ電話で手話で話す。それを見たオペレーターが、聞こえる人に電話をして内容を音声で伝える。逆に聞こえる人の音声は、オペレーターが文字や手話で伝える。電話リレーサービスの便利さを紹介しながら、普及させるための道筋を考える。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2011-029	ろうを生きる難聴を生きる 発達障害をあわせ持つ子への支援	NHK	15	2010/05/30
利用区分				
B−3	ろう学校に通う子どもの「発達障害」が注目されはじめた。補聴器が進歩したり手話が積極的に活用されても、「ことばの学習に困難がある」「集中が続かない」「人の気持ちを推測できない」といった特性を持つ子どもたちがいることが、わかってきたのだ。そんな中、東京学芸大学准教授の濱田豊彦さんが実施する「学習支援ダンボ」の取り組みが注目されている。発達障害をあわせ持つ子どもの教育支援の研究と実践についてリポートする。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2011-030	ろうを生きる難聴を生きる 情報・コミュニケーションを保障する 制度改革を	NHK	15	2010/06/13
利用区分				
B−3	障害者にかかわる制度の抜本的な改革をめざして議論が続く、内閣府の障がい者制度改革推進会議。重要なテーマのひとつが「情報・コミュニケーション保障」だ。日本が批准をめざす障害者権利条約をふまえた新しい法制度を、障害者自身が提案、実現しようとしている。情報・コミュニケーション保障を実現する制度改革についての、全日本ろうあ連盟の考え方を聞く。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2011-031	ろうを生きる難聴を生きる 日本ろう者劇団　３０年の軌跡	NHK	15	2010/06/27
利用区分				
B−3	ろう者演劇をけん引し続けてきた「日本ろう者劇団」は、今年、誕生して３０周年を迎えた。１９８０年４月、演劇の好きなろう者が集まり「東京ろう演劇サークル」を設立。その後、トット基金の付帯劇団となり、日本ろう者劇団と改称し、発展してきた。 日本ろう者劇団は、どのような足跡を残してきたのか、これから何を始めようとしているのか、過去の公演の映像を交えながら、劇団の米内山明宏さんと井崎哲也さんに聞く。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2011-032	ろうを生きる難聴を生きる ソーシャルワークを普及させよう	NHK	15	2010/07/11
利用区分				
B−3	聴覚障害のある人の生活の質を高めるために注目され始めたのが、専門家によるソーシャルワークだ。本人が抱える問題を整理し、使える制度を利用し周囲にも働きかけて、本人が職場や地域で力を発揮しやすいようにする。東京聴覚障害者自立支援センターの相談支援員の矢野耕二さんは、聴覚障害者が働く職場に出かけて障害者が働きやすい職場を作ったり、ろう学校に出かけて生徒の相談に乗ったりしている。ソーシャルワークの実際を紹介しながら、ソーシャルワークの重要性や普及への道筋、課題について聞く。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2011-033	ろうを生きる難聴を生きる ピアノが好き！　～調樹里杏さん～	NHK	15	2010/07/25
利用区分				
B−3	聞こえなくても、ピアノを弾くのが楽しくてしかたがない！そう語るのは、神奈川県に住む調樹里杏（しらべ　じゅりあ）さん。仕事や子育てと格闘しながら、毎日、自宅のピアノに向かう。調さんがピアノを弾く楽しみは、響き。聞く人に感動してもらえる演奏をしたいと、自分では確認しづらいことをピアノの先生に教えてもらいながら、練習に取り組んでいる。大好きなピアノに一生懸命に向き合う調樹里杏さんを追う。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2011-034	ろうを生きる難聴を生きる お便りにこたえて	NHK	15	2010/08/08
利用区分				
B−3	番組に寄せられたお便りをもとに、３つの話題を取り上げる。 （１）読話学習会…東京都八王子市が開催している読話学習会の様子を紹介する。 （２）ろう女性史講演会…大槻芳子さんを講師に迎えて開催された、「ろう女性史講演会」の様子を紹介する。 （３）人工内耳の聞こえ…虎の門病院（東京都港区）耳鼻咽喉科の医師と患者さんの話を紹介する。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2011-035	ろうを生きる難聴を生きる いつも前向きに　～大槻芳子さん～	NHK	15	2010/09/05
利用区分				
B−3	大槻さんは、１９４２年新潟県に生まれ７歳で失聴した。大槻さんの名前が広く知られるようになったきっかけは、手話の魅力を多くの人に知ってもらおうと、４０代になって始めた手話パフォーマンスと講演のステージ活動だ。さらに５０歳を過ぎてからは、全日本ろうあ連盟本部事務所長として活躍した。７０歳近くになった今も前向きな生き方は変わっていない。番組では、ろう女性史編さんプロジェクト代表の長野留美子さんが、大槻さんの生き方を聞く。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2011-036	ろうを生きる難聴を生きる ユニバーサルデザインを考える	NHK	15	2010/09/19
利用区分				
B−3	東京国際空港の新ターミナルをユニバーサルデザインとするため、東京国際空港ターミナル株式会社は２年３か月をかけて障害のある当事者や専門家をＵＤ委員に任命し、検討を続けてきた。議論したテーマは、トイレ、サイン、地図、エレベーター、人的対応など多岐にわたる。番組では、ＵＤ委員会による新ターミナルの模擬利用の模様を紹介しながら、ユニバーサルデザインの成果と課題を伝える。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2011-041	カンブリア宮殿　障害者に働く喜びを 日本理化学工業会長　大山泰弘	テレビ東京	44	2010/11/03
利用区分				
B−3	不況にあえぐ中小企業にあって、社員の幸せを考え続けている会社がある。神奈川県川崎市にある「日本理化学工業」だ。この会社の従業員は７４人のうち５４人が知的障害者だ。しかも重度の人が半数以上を占めている。障害者の雇用を積極的に進める企業の中でも、草分け的な会社だ。 日本理化学工業の５０年の歩みと障害者雇用の現実と問題点をあぶりだしていく。 【群馬県聴覚障害者コミュニケーションプラザ】			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2011-042	目撃者ｆ 絵里せんせいと スーパーダンスキッズ	福岡放送 字幕制作：福岡県聴覚障害者C	26	2010/04/25
利用区分				
B－3	最近、子どもたちの間でもヒップホップやストリート系ダンスが大人気で、キッズダンスの全国大会開催など、キッズダンス界はこれまでにない盛り上がりを見せている。福岡市南区にも全国で注目を集めるダンスチームがある。小学生ダンサー日本一を決める大会で前年全国３位。今回は優勝を目指すチーム「絵里ダンス」だ。子どもたちを指導するのは、西畑絵里さん。西畑さんは生まれながらにして重度の難聴という障害をもちながら、高校、大学時代に何度も日本一に輝いた実績がある。その努力は並大抵のものではない。「ダンスの前にまず礼儀」という西畑さんの指導はとても厳しい。「できるかできないかでなく、やるかやらないかよ！」としったする西畑さんに子どもたちは泣きながら必死の思いで付いていく。　さて、今大会の結果は…。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2012-001	ハートをつなごう きょうだい～障害のある人の兄弟姉妹～ （１）抱えてきた“生きづらさ”	ＮＨＫ 厚生文化事業団	29	2011/09/28
利用区分				
A－3	「子ども時代に親に甘えられなかった」「大人になっても、自分のために人生を生きられない」…障害のある人や、難病などで長期闘病している人の兄弟姉妹は、「きょうだい」あるいは「きょうだい児」と呼ばれ、成長の過程で悩みや葛藤を抱く人が多いといわれています。しかし、家族支援の必要性が指摘されるようになっても、「きょうだい」は、なかなか支援の対象として捉えられてきませんでした。「自分が悩んでいることで、親を悲しませたくない」、「周囲の人に話せば、自分が悪い人間だと思われるのではないか」…一人で苦しんでいる若者が、数多くいるのではないかといわれています。（1）では、「きょうだい」がどんなことに苦しんできたのかを当事者のみなさんとともに考えていきます。（ＮＨＫＨＰ参照）			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2012-002	ハートをつなごう きょうだい～障害のある人の兄弟姉妹～ （２）“自分を生きる”ために	ＮＨＫ 厚生文化事業団	29	2011/09/29
利用区分				
A－3	「子ども時代に親に甘えられなかった」「大人になっても、自分のために人生を生きられない」…障害のある人や、難病などで長期闘病している人の兄弟姉妹は、「きょうだい」あるいは「きょうだい児」と呼ばれ、成長の過程で悩みや葛藤を抱く人が多いといわれています。しかし、家族支援の必要性が指摘されるようになっても、「きょうだい」は、なかなか支援の対象として捉えられてきませんでした。「自分が悩んでいることで、親を悲しませたくない」、「周囲の人に話せば、自分が悪い人間だと思われるのではないか」…一人で苦しんでいる若者が、数多くいるのではないかといわれています。（２）では、「きょうだい」が、成長の過程で抱えるさまざまな課題を、どうやって乗り越えていけばいいのかを当事者のみなさんとともに考えていきます。（ＮＨＫＨＰ参照）			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2012-003	ハートをつなごう ＮＨＫ障害福祉賞(１)　私の家族	ＮＨＫ 厚生文化事業団	29	2011/12/28
利用区分				
A－3	「ＮＨＫ障害福祉賞」は、障害者自身の体験や障害児・者の教育や福祉の分野での実践記録などに贈られる賞。この「ＮＨＫ障害福祉賞」最優秀賞を受賞した徳澤麻希さん。夫の勝也さんが交通事故で車いすの生活になり、麻希さんは、勝也さんの介助とふたりの子どもの子育てに奮闘。夫の勝也さんは障害を抱えながら、子育てにどう関わったらいいのか悩んできた。困難に遭いながらも前向きに生きようとする一家の姿をご紹介しながら、作品にこめられた思いを伺う。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2012-005	福祉ネットワーク 東日本大震災 障害者の１か月　集団避難した人たち	NHK	29	2011/04/12
利用区分				
B−3	福島県いわき市で、さまざまな支援を受けて自立した生活を送っていた障害者７４人が、東日本大震災の影響で長野県へと集団避難をした。今後どのように生活を再建していくのか、ふるさとへの強い思いの中で揺れる障害者の姿を見つめる。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2012-006	福祉ネットワーク 孤立を防げ ～石巻　聴覚障害者はいま～	NHK	29	2011/06/09
利用区分				
B−3	東日本大震災で被災したろう者の中には、情報が入らず、また支援が受けられずに孤立する方々がいる。彼らの支えとなるのが、設置手話通訳だ。宮城県石巻市で活動する設置手話通訳の姿を通して、被災した聴覚障害者の支援について考える。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2012-007	福祉ネットワーク 東日本大震災 “盲ろう者”になにがおきたか	NHK	29	2011/09/01
利用区分				
B−3	多くの人に甚大な被害をもたらした東日本大震災。中でも視覚と聴覚の両方に障害を持つ「盲ろう者」は、震災直後の停電や情報網の混乱の中、情報を得る一切の手段を失った。さらに震災は、日ごろ盲ろう者を支えていた支援者の命も奪った。東日本大震災で盲ろう者はどんな事態に直面したのか、そしてどんな支援が必要なのか考える。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2012-008	ろうを生きる難聴を生きる 人工内耳・２７０人の親の声 ～全国早期支援協議会アンケートから～	NHK	15	2010/10/03
利用区分				
B−3	内耳に電極を入れることで、聴力の回復をはかる人工内耳。１９９４年に保険が適用となってからは手術を受ける人が増え、また手術時の平均年齢は２００９年には３歳代となった。多くのケースでは、手術を行うか否かの判断は親が判断している現状だ。番組では、聴覚障害児を持つ親を対象に行われたアンケートから、人工内耳に対する親の気持ちを紹介。また人工内耳を装着しながらも、手話の世界に生きがいを見いだした聴覚障害者の姿も紹介する。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2012-009	ろうを生きる難聴を生きる 検証・韓国手話 ～似ている？似ていない？その実像に迫る～	NHK	15	2011/10/22
利用区分				
B−3	日本でも学ぶ人が増えている韓国手話。北星学園大学の佐々木大介さんは、言語学の立場から両者を比較研究している。かつて日本が韓国を植民地化していた歴史的背景もあり、韓国手話と日本手話は非常に似ていると言われるが、最近ではその状態に変化が起きているという。韓国手を取り巻く現状を見ていく。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2012-010	ろうを生きる難聴を生きる 自分自身への挑戦～ライダー高杉奈緒子 日本最高峰レースに挑む～	NHK	15	2011/10/31
利用区分				
B−3	高杉奈緒子さんは難聴者。２３歳の時からライダーとして走り続けている。日本最高峰のオートバイレース「全日本ロードレース選手権」にも参戦中だ。「自分自身の限界に挑戦したい」という高杉さんのレースにかける思いを追った。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2012-011	ろうを生きる難聴を生きる ろう教授奮闘記　～松崎丈さん～	NHK	15	2010/11/14
利用区分				
B−3	宮城教育大学准教授の松﨑丈さんはろう者。ろう学校の教員を目指す学生たちを指導している。小学校から高校まで普通校で過ごした松﨑さんは大学で手話と出会い、現在は手話を使って講義を行う。手話通訳はつけず、学生たちは手話を学びながら松﨑さんとコミュニケーションしている。ろう教育を担う学生に期待する思いを、松﨑さんに語っていただく。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2012-012	ろうを生きる難聴を生きる 聞こえない大学生への支援 ～生き生きと学ぶために～	NHK	15	2010/11/28
利用区分				
B−3	現在、大学に進学している聴覚障害学生は1500人ほどおり、その数が増える中、大学での情報保障の整備が急がれている。番組では「日本聴覚障害学生高等教育シンポジウム」の様子を紹介しながら、一部の大学で行われている先駆的な試みを見ていく。お話は筑波技術大学障害者高等教育研究支援センターの白澤麻弓さん。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2012-015	ろうを生きる難聴を生きる ろう者の思いを伝えたい ～映像ドキュメンタリー作家・今村彩子さん～	NHK	15	2011/01/09
利用区分				
B−3	今村彩子さんはろうの映像ドキュメンタリー作家。「ユニバーシティライフ～ろう・難聴学生の素顔～」が文部科学省選定作品となるなどいくつかの受賞体験もした。また「伝えたい」が日本民放連盟賞ＣＭ部門で優秀賞を受賞した。この作品は静岡県内のサーフ店長（ろう者）が、店を訪れる健聴者と筆談でコミュニケーションする姿を通して「伝える方法はいろいろある。大切なのは伝えたいという気持ち」というメッセージを送るものである。今村さんの思いを伺う。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2012-016	ろうを生きる難聴を生きる つかめ！聞こえない人々のニーズ ～しゅわ旅ツアー～	NHK	15	2011/01/18
利用区分				
B−3	片桐幸一さんは旅行代理店で働くろう者。ほかのスタッフとともに聴覚障害者の他、さまざまな障害のある人を対象にした旅行を企画している。当事者たちはどのようなサービスを求めているのか片桐さんの体験を通して考える。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2012-019	ろうを生きる難聴を生きる 島のろう者は今	NHK	15	2011/03/06
利用区分				
B−3	島根県・隠岐は４つの島からなり、約２万人の人々が暮らす。ここには手話で生活する人が１０人ほどいる。離島では手話通訳の派遣が難しい場合も多い。島のろう者たちの暮らしを追った。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2012-020	ろうを生きる難聴を生きる 災害関連情報 (平成23年3月20日放送)	NHK	15	2011/03/20
利用区分				
B−3	東日本大震災から９日目の放送。岩手・宮城・福島の各被災地の様子、聴覚障害者の状況を、各地のろうあ協会・難聴者協会や手話通訳者から報告してもらう。また被災地の聴覚障害者から番組に寄せられたメールを紹介し、被災者の生の声を伝える。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2012-021	ろうを生きる難聴を生きる この一年を振り返って ～ハイライトシーンをもう一度！～	NHK	15	2011/03/27
利用区分				
B−3	１年間の放送を振り返り、さまざまな世界で活躍する４人の聴覚障害者の様子を、ハイライトシーンを交えて紹介する。登場するのは、女性ライダーの高杉奈緒子さん、大学准教授の松崎丈さん、会津塗りの職人の星清一さん、旅行会社で手話ツアーを企画する片桐幸一さんだ。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2012-022	ろうを生きる難聴を生きる 災害関連情報 (平成23年4月3日放送)	NHK	15	2011/04/03
利用区分				
B−3	東日本大震災関連情報。震災から３週間目の様子を伝える。聴覚障害者救援中央本部の取り組みについてと、岩手県ろうあ協会会長高橋幸子さんの報告。番組後半では、兵庫県立聴覚障害者情報センターの相談員・甲斐更紗さんを迎え、災害時の心理支援について伺う。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2012-023	ろうを生きる難聴を生きる 災害関連情報 (平成23年4月10日放送)	NHK	15	2011/04/10
利用区分				
B−3	東日本大震災から１か月目の様子を伝える。全難聴対策本部の高岡正さんから、難聴者の被災状況・必要な支援について伺う。後半は精神保健福祉士の高山享太さんを迎え、被災した子どもたちをどう受け止め支援していくのかを伺う。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2012-024	ろうを生きる難聴を生きる あきらめない人生　前編 ～藤田孝子さん～	NHK	15	2011/04/17
利用区分				
B−3	１９６４年に制作されたＮＨＫのドキュメンタリー「歳月」は、藤田威さん・孝子さんの聞こえない夫婦が、たくましく生きる姿を描いた作品だ。ろう者への差別がまだ厳しかった時代。さまざまな苦労に負けず前向きに生きた孝子さんの「あきらめない人生」を伺う。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2012-025	ろうを生きる難聴を生きる あきらめない人生　後編 ～藤田孝子さん～	NHK	15	2011/04/24
利用区分				
B−3	藤田孝子さんにお話を伺う後編。夫の威さんは島根県のろうあ連盟の中心的存在として活躍した。夫の生前からろうあ運動にかかわった孝子さんだが、当時は女性が前面に出るのは珍しいことだった。夫の死後、島根県のろうあ連盟の会長も務めた孝子さんに、女性ならではの取り組みについて伺う。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2012-026	ろうを生きる難聴を生きる 人形劇と自分探しの旅　～前編～	NHK	15	2011/05/01
利用区分				
B−3	「デフ・パペットシアター・ひとみ」は、聞こえない人と聞こえる人が力を合わせて上演する人形劇団。結成３０周年記念作品の公演に初挑戦する牧野英玄さんの姿を追う。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2012-027	ろうを生きる難聴を生きる 人形劇と自分探しの旅　～後編～	NHK	15	2011/05/08
利用区分				
B−3	「デフ・パペットシアター・ひとみ」の牧野さんはろう学校ではなく一般校で学び、聞こえる世界と聞こえない世界のはざまで揺れ動いていた。人形劇を通して、自分探しの旅を続ける牧野さん。初めての公演を通して、「自分とは何者なのか」が少しつかめたという。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2012-028	ろうを生きる難聴を生きる どんぐり　ろう重複障害とともに ～知的障害のある仲間のために～	NHK	15	2011/05/15
利用区分				
B−3	入所授産施設「ふれあいの里・どんぐり」には６０人のメンバーが暮らす。その半数以上が、知的障害のある人たちだ。メンバーは共同生活をする中で、使える手話単語の数を増やしたり、買い物をする力を付けたりして、少しずつ成長している。全国的にも先進的と言われる取り組みを伝える。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2012-029	ろうを生きる難聴を生きる どんぐり　ろう重複障害とともに ～さまざまな”生きづらさ”を支えて～	NHK	15	2011/05/22
利用区分				
B－3	設立当初の「どんぐりの家」のころとは異なり、今、「ふれあいの里・どんぐり」では、精神障害、ひきこもり、盲ろうなど、さまざまな「生きづらさ」のある人の暮らしを支えている。「ふれあいの里・どんぐり」の取り組みを伝える。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2012-030	ろうを生きる難聴を生きる 制度改革① 必要とする人にサービスを	NHK	15	2011/06/12
利用区分				
B－3	日本では、軽中度難聴の人は障害認定されず、福祉サービスなどを受けることができない。しかし、日常生活で困っていることは、たくさんある。サービスを必要とする人が、サービスを受けられるようにするための道筋を考える。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2012-031	ろうを生きる難聴を生きる 制度改革② どこでもいつでもコミュニケーション支援を	NHK	15	2011/06/19
利用区分				
B－3	現在、手話通訳派遣事業、要約筆記派遣事業、手話通訳設置事業を実施していない市町村があり、内容も地域格差があることが指摘されている。最新の調査結果をもとに、どこでもいつでもコミュニケーション支援が受けられるようにするための道筋を考える。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2012-032	ろうを生きる難聴を生きる 大好きな犬と仲間と ～びわこみみの里の就労支援～	NHK	15	2011/06/26
利用区分				
B－3	滋賀県守山市にある「びわこみみの里」は、一般企業への就労が難しい聴覚障害者などが、就労訓練を受けたり働いたりする施設。中でもユニークなのは犬の美容師であるトリマーの養成。トリマーを目指す人たちを中心に、みみの里を紹介する。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2012-036	ろうを生きる難聴を生きる 東日本大震災　盲ろう者は	NHK	15	2011/07/24
利用区分				
B−3	岩手県大槌町に住む八幡美知子さん（６０歳）は、息子夫婦と孫と６人で暮らしている。震災で家は無事だったが、１４年前から八幡さんを支えてくれた通訳・介助者が、津波で行方不明になってしまった。大槌町には、ほかに通訳・介助者はいない。震災の中での盲ろう者の生活の現状を伝える。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2012-037	ろうを生きる難聴を生きる 東日本大震災　放射能の不安	NHK	15	2011/07/31
利用区分				
B−3	ろう者は、放射能や放射能の影響を減らすための注意点について、手話を通して情報を得る機会が少ない。そこで、東日本大震災聴覚障害者救援福島県本部では、手話通訳を付けた専門家の講演会を開いた。放射能汚染と向き合うろう者と、それを支援する動きを伝える。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2012-038	ろうを生きる難聴を生きる 災害時の緊急情報をどう伝えるか	NHK	15	2011/09/18
利用区分				
B−3	東日本大震災では、聴覚障害者の防災や被災者支援において、さまざまな課題が浮き彫りになった。特に情報配信は重要な課題である。災害発生時に確実に情報が届くようにするには、どんなシステムを用意しておくことが必要なのか考える。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2012-039	ろうを生きる難聴を生きる 災害と聴覚障害者情報提供施設	NHK	15	2011/09/25
利用区分				
B−3	東日本大震災で、情報提供施設は地元の聴覚障害者団体と協力し、安否確認や被災者支援活動を行った。災害時に重要な役割を担う情報提供施設のない地域では、一日も早い施設設置を望む声が高くなっている。災害時の情報提供施設の役割について伝える。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2012-041	なんくるないさぁ　耳の日特番 ～今井絵里子が息子と歩んだ6年～	日本テレビ	45	2011/03/05
利用区分				
B－3	かつてＳＰＥＥＤのメンバーとして、国民的人気を得た歌手・今井絵理子さん。彼女の一人息子、礼夢くんは耳が聞こえない。「聞こえないことは息子の個性」と言い切る絵里子さんは、礼夢くんを連れて全国のろう学校や施設を回り、コンサートを行っている。自ら手話を学び、息子とコミュニケーションし、そして歌い続ける絵里子さんの姿を追った。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2012-043	NNNドキュメント’11 ３・11大震災シリーズ16 手話で伝えた被災地～心の壁を越えて～	静岡第一テレビ	25	2011/10/03
利用区分				
B－3	今村彩子さんはろう者の映像作家。東日本大震災の直後から現地入りし、被災したろう者たちの姿を撮り続けてきた。以前は手話のできない聴者とのコミュニケーションにあまり積極的ではなかったという今村さん。しかしあるろう者との出会いで、自分の心の壁に気づく。被災したろう者の復興も、それぞれが心の壁を超えたとき、何かが見えてくるはず。それを信じて、ひたむきに作品づくりに向き合う今村さんの姿を追う。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2012-044	JNN九州沖縄ドキュメント　ムーブ 手話で生きたい	熊本放送	25	2011/10/27
利用区分				
B－3	乗富秀人さんは熊本に住む画家。描くのは、デフアートと呼ばれる「音のない世界の人たちの想いを表現する」絵画だ。口話教育で厳しく育てられた乗富さんは就職してからも、聴者ばかりの社会で孤独感を強めていた。転機となったのは２６歳の時に絵の勉強のために向かったパリ。ろう教育発祥の地フランスで、ろうであることに誇りを持って生きる芸術家たちと出会う。今、乗富さんはろう者の誇りを持って、「手話で生きたい」と強く思っている。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2012-045	架け橋 第1弾 ～東日本大震災　宮城の被災ろう者は今～ 第2弾 ～東日本大震災　一ヵ月後の被災ろう者～ 第3弾 ～東日本大震災　地域の絆～	CS障害者放送統一機構	75	2012年度
利用区分				
A－3	甚大な被害をもたらした東日本大震災。その時、聞こえない仲間たちは、建物の倒壊した町で、避難所で、何を思いどう過ごしていたのか。ろう者である今村彩子監督が見た被災地とは、そして聞こえない仲間たちとは…。渾身のドキュメンタリー作品。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2012-046	福祉ネットワーク　この人と福祉を語ろう デザインで描く生きる希望 ～建築家　伊東豊雄さん～	NHK	29	2012/01/09
利用区分				
A−3	各界の著名人に、その人なりの福祉論を語ってもらう「この人と福祉を語ろう」。今回のゲストは、世界的な建築家の伊東豊雄さん（７０歳）。東日本大震災によって暮らしや地域社会が奪われた被災者たち。伊東さんは震災直後から被災地に入り、「建築の力」でコミュニティーの復興再生を支援するために力を注いできた。多くの喪失を経験した被災者の心と生活の復興再生を、どうデザインの力で支援しようとしているのか、話を伺う。（ＮＨＫＨＰより）			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2013-001	アスリートの魂 私はもっと速くなる 車いすマラソン　土田和歌子	NHK	44	2012/09/03
利用区分				
A−3	パラリンピック車いすマラソン日本代表、土田和歌子選手。１７歳で足の自由を失った後、幾多の苦難においても常に前を向いて走り続け、夏と冬のパラリンピック両方で金メダルを獲得。まだ手にしていないのが、車いすマラソンでの金メダルだ。レース中の事故で大けがを負った北京大会から４年、３７歳の肉体は衰えを隠せないが、「最後のチャンス」と臨むロンドンに向けた激闘の日々に密着した。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2013-002	ハートネットTV NHKハート展　叱られたとき	NHK	29	2012/12/17
利用区分				
A−3	障害がある人が作った詩に著名人が絵をつけるアートのコラボレーション「ＮＨＫハート展」。今回は入選者の中から、茨城県に住む遠藤真宏さん（１９歳）の作品をとりあげる。真宏さんは知的障害と自閉症がある。小さい時は、自分の感情をコントロールできず、ほとんど人と関わることもできなかった。母親の礼子さんは、幼少から２つのことを心がけて、真宏さんに向き合ってきたという。（ＮＨＫＨＰ参照）２つのこととは…？			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2013-003	東日本大震災6ヵ月 取り残される障害者	NHK	29	2011/09/11
利用区分				
B−3	東日本大震災から６か月がたち、ＮＨＫでは独自の取材によってある数字を得た。そのデータによると、障害のある人の死亡率は障害のない人に比べて、２倍近くも高かった。その結果から見えてきた被災地の障害者の現実、課題を伝える。障害者が取り残されることのない社会に向かって、何が必要で、今何をしなければいけないのか考える。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2013-004	ろうを生きる難聴を生きる 明日へのシュート～デフバスケットチーム宮城クローバーズ～　前編	NHK	15	2011/10/02
利用区分				
B−3	愛知県で開かれた全国ろうあ者体育大会に東日本大震災の被災地から参加した、デフバスケットボールチーム「宮城クローバーズ」。メンバーの中には肉親を失った人もいる。被災者の支援に走り回った人もいる。 震災の影響で十分な練習ができなかったメンバーの思いを追う。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2013-005	ろうを生きる難聴を生きる 明日へのシュート～デフバスケットチーム宮城クローバーズ～　後編	NHK	15	2011/10/09
利用区分				
B−3	東日本大震災の被災地の宮城から、全国ろうあ者体育大会参加を決めた「宮城クローバーズ」。しかしメンバーは５人だけ。控え選手もいない人数で大会に参加したクローバーズの戦いぶりを追う。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2013-006	ろうを生きる難聴を生きる 難聴児教育①　学びやすい学校作り ～ある夫婦のとりくみから～	NHK	15	2011/10/16
利用区分				
B−3	秋田県に住む荒巻晋治さん里美さん夫妻は、長男の修治君（１０歳）が秋田市立御所野小学校難聴児学級に入学して以来４年間、難聴児にとって学びやすい学校を目指して活動を重ねてきた。親子の軌跡と現在の学校のとりくみを２回シリーズで送る。１回目は情報保障に焦点を当てる。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2013-007	ろうを生きる難聴を生きる 難聴児教育②　子どもはこう感じている ～難聴児の“手記から”～	NHK	15	2011/10/23
利用区分				
B−3	難聴児教育２では、学校生活について書いた修治君の作文を取り上げる。 日々学校で起きたことを、修治君はどう受けとめ、成長していったのか。子ども自身の感じ方から難聴児教育や学校のありかたを考える。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2013-008	ろうを生きる難聴を生きる 防災を考える　～全国難聴者・ 中途失聴者福祉大会inあおもり～	NHK	15	2011/10/30
利用区分				
B−3	青森市で開催された「第１７回全国難聴者・中途失聴者福祉大会」では、さまざまな分科会の中でも、防災について考える分科会への出席者が多かった。防災を中心に「福祉大会ｉｎあおもり」を伝える。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2013-009	ろうを生きる難聴を生きる ～司法手続きにおける配慮を～	NHK	15	2011/11/06
利用区分				
B−3	２０１１年に改正障害者基本法が成立し施行された。その中に新しく盛り込まれた条文の１つが司法手続きにおける配慮である。ろう者がかかわる裁判や事件の取り調べ等のコミュニケーション保障について考える。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2013-010	ろうを生きる難聴を生きる シリーズ　こころの病　① ストレスと発症障害者基本法が求めるもの～	NHK	15	2011/11/13
利用区分				
B−3	聴覚障害者が精神疾患になった場合、聴覚障害の理解が必要だと言われる。２回シリーズで、統合失調症のろう者の発症から回復までを例に、聴覚障害者の精神保健について伝える。１回目は、聴覚障害者にとってのストレス、治療におけるコミュニケーションの大切さに焦点をあてる。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2013-011	ろうを生きる難聴を生きる シリーズ　こころの病　② 仲間・生きがいと回復	NHK	15	2011/11/20
利用区分				
B−3	都内に住む統合失調症のろう者（４８歳）は、作業所に通い、弁当の調理の仕事を任されるようになってから、やりがいを感じるようになった。また、精神疾患のある聴覚障害者の仲間と会う場が支えになっている。 こころの病シリーズの２回目は、生きがいになる目標を作ることや、仲間作りの大切さに焦点をあてる。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2013-012	ろうを生きる難聴を生きる 闘う人生　大矢暹さん　① 差別をなくすために	NHK	15	2011/11/27
利用区分				
B−3	大矢暹さんは「淡路ふくろうの郷」で施設長を務めている。ふくろうの郷には聞こえないお年寄りが多く暮らしている。 いつも穏やかな笑顔でお年寄りと接する大矢さんの人生は、まさに闘いの連続だった。大矢さんの闘う人生を２回シリーズで送る。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2013-013	ろうを生きる難聴を生きる 闘う人生　大矢暹さん　② 聞こえない高齢者のために	NHK	15	2011/12/04
利用区分				
B−3	ろう学校時代、教師たちの差別や偏見と闘った大矢暹さんは、卒業後は社会の中のさまざまな壁に立ち向かった。 大矢暹さんの闘う人生シリーズ２回目は、聞こえない高齢者が暮らしやすい社会にしようと活動した思いを伺う。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2013-014	ろうを生きる難聴を生きる 日々是修行 表具師　中河吉由樹さん	NHK	15	2011/12/11
利用区分				
B−3	表具師の中河吉由樹（なかがわよしゆき）さんは中途失聴のために、目指していた表具師の道を一時はあきらめた。だが復職を可能にしたのは人工内耳だった。表具師という仕事を「人生でこれほど打ち込めたものはない」と言い切る中河さん。表具の技を磨き続ける中河さんの日々を追う。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2013-015	ろうを生きる難聴を生きる イグ・ノーベル賞と聴覚障害者 ～わさび臭火災警報装置～	NHK	15	2011/12/18
利用区分				
B−3	イグノーベル賞とは、人を笑わせ考えさせる独創的な研究に贈られる賞だ。化学賞を受賞した日本人のグループが開発したのは、「わさびのにおいで火災を知らせる警報装置」。装置の開発には、多くの聴覚障害者が協力した。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2013-016	ろうを生きる難聴を生きる 手話の権利を確立させよう 「手話言語法」制定運動	NHK	15	2012/01/08
利用区分				
B−3	２０１１年７月「改正障害者基本法」が成立し、日本で初めて「手話は言語である」ということが認められた。手話の権利をさらに確かなものにしようと、全日本ろうあ連盟が進めているのが、「手話言語法（仮称）制定推進事業」。手話言語法はどんな権利の確立を目指しているのか。ろうあ連盟の西滝憲彦さんに伺う。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2013-017	ろうを生きる難聴を生きる 聞こえる子を育てる親へ ～「コーダ」からのメッセージ～	NHK	15	2012/01/15
利用区分				
B−3	聞こえない親から生まれた子どもをコーダと呼ぶ。聞こえない親は、コーダの子育てに迷いを持つことがあるという。そんな親たちを支援するため、聴力障害者情報文化センターがＤＶＤをつくった。乳幼児期や学齢期の子育てについてわかりやすく解説している。ＤＶＤに解説者として登場する金沢大学の武居渡さんと声優の佐田明さんの２人のコーダが、コーダの子育てについて語り合う。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2013-018	ろうを生きる難聴を生きる シリーズ　若者が見たアメリカ① 前向きな生き方　～西川愛理さん～	NHK	15	2012/02/05
利用区分				
B−3	手話で学べる大学「ギャローデット大学」。アメリカでは、大学で専門的なことを学ぶ若い難聴者やろう者が増えている。難聴者の西川愛理さんも、自分の難聴について学びたいと、アメリカの大学でオーディオロジーを学んだ。海外の仲間と触れあう中で、難聴者として生きることに自信を持ったという西川さん。彼女を変えたきっかけについて伺う。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2013-019	ろうを生きる難聴を生きる シリーズ　若者が見たアメリカ② 聞こえない人への相談支援～高山亨太さん～	NHK	15	2012/02/12
利用区分				
B−3	精神保健福祉士であり、社会福祉士でもある高山亨太さんは、３年間ギャローデット大学で、聞こえない人のソーシャルワークについて学んだ。現在は、聴覚障害のある子どもたちの相談にあたっている。高山さんがアメリカでみた聴覚障害者への専門的な支援について伺う。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2013-020	ろうを生きる難聴を生きる 手話通訳制度を考える	NHK	15	2012/02/19
利用区分				
B−3	聴覚障害者の暮らしに欠かせない手話通訳。去年、高松市で手話通訳の派遣を市が認めない例が起きた。ろう者の母親が、娘が進学を希望する専門学校の説明会への通訳派遣を依頼したが、市に断られたのだ。母親は裁判を起こすことにした。手話通訳制度の何が問題なのか、どう変えるべきなのかを考える。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2013-021	ろうを生きる難聴を生きる 世界ろう者卓球選手権まで2か月（1） つかめ金メダル！　-上田萌さん-	NHK	15	2012/02/26
利用区分				
B−3	東京富士大学・卓球部の上田萌さんは、第２回世界ろう者卓球選手権大会に出場する。第１回大会は銅メダル、デフリンピックでは決勝まで進んだが、惜しくも金メダルを逃した。今度こそ世界の頂点を目指す上田選手の挑戦を追う。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2013-022	ろうを生きる難聴を生きる 世界ろう者卓球選手権まで2か月（2） 夫婦で挑む -有馬歓生・千寿子さん-	NHK	15	2012/03/04
利用区分				
B−3	東京で開かれる第２回世界ろう者卓球選手権大会。その強化合宿に夫婦で参加した有馬歓生・千寿子夫妻。第１回大会では千寿子さんが４位、歓生さんは３２位だった。認め合い支え合って世界に挑む夫婦の日常を追った。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2013-023	ろうを生きる難聴を生きる 防災・減災のために	NHK	15	2012/03/11
利用区分				
B−3	聴覚障害のある人の命を災害から守るためには、警報や避難指示を確実に伝えることが必要だ。自治体が緊急情報を出す時は、音声だけでなく文字などの視覚情報でも出さなくてはならない。同時に、１人１人の日ごろの備えも大切だ。情報をどのように得るのか、何を持ち歩くか。聴覚障害者の防災・減災に役立つモノやサービスを紹介する。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2013-024	ろうを生きる難聴を生きる 検証　障害者自立支援法改正案	NHK	15	2012/04/08
利用区分				
B−3	「障害者自立支援法改正案」は、名前を「障害者総合支援法」とあらため、これまで福祉サービスを受けられなかった難病の患者もサービスの対象に広げるなどとしている。しかし、この法案に対しては、障害者自立支援法に代わる福祉制度について話し合ってきた「障がい者制度改革推進会議」の総合福祉部会の骨格提言とかけはなれている、などとする批判がある。聴覚障害者団体からの出演者とともに、改正案を検討する。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2013-025	ろうを生きる難聴を生きる いつか宇宙へ ～JAXA開発員　長谷川晃子さん～	NHK	15	2012/04/15
利用区分				
B−3	２０１０年、地球に帰還した、宇宙航空研究開発機構（ＪＡＸＡ）の探査機「はやぶさ」。その「はやぶさ」の帰還作業にかかわった長谷川晃子さんは、聴覚障害のある女性職員だ。子どものころから天文台に行くことが好きだった。いつか宇宙へ行くことを夢見て、「宇宙からの第一声は手話で伝えたい」と語る長谷川さんに、ＪＡＸＡでの仕事の内容と、宇宙への思いを聞く。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2013-026	ろうを生きる難聴を生きる 早瀬憲太郎に聞く① ろう児のために	NHK	15	2012/04/22
利用区分				
B−3	「ＮＨＫみんなの手話」講師の早瀬憲太郎さんは、ろうの子どもたちに日本語の力を身につけてもらおうと、ろう児向けの塾の活動をしている。ろう児が自分の夢を実現するときに、日本語の読み書きの力が必要になると思うからだ。ろう児のためにできることは何かと考え続ける早瀬さんにお話しを伺う。２回連続シリーズの１回目。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2013-027	ろうを生きる難聴を生きる 早瀬憲太郎に聞く② 先輩の生きざまを伝えたい	NHK	15	2012/04/29
利用区分				
B−3	２００９年、早瀬さんが監督した映画「ゆずり葉」が公開された。全日本ろうあ連盟の創立６０周年を記念して制作されたこの映画は、「ろう児たちにろうあ運動の歴史をわかりやすく伝えたい」という早瀬さんの発案からスタートした。早瀬さんに、聞こえるスタッフに囲まれて奮闘した撮影時のエピソードや、それぞれのシーンに込められた思いなどを伺う。２回連続シリーズの２回目。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2013-031	ろうを生きる難聴を生きる 2012世界ろう者卓球選手権大会　前編	NHK	15	2012/05/27
利用区分				
B−3	４月２９日から５月６日まで東京で開かれた「２０１２世界ろう者卓球選手権大会」。１６の国と地域から、選手・役員１２６人が参加した。世界の強豪と戦った日本選手を追う。日本代表として参加した選手の一人梅村正樹選手や、夫婦で混合ダブルスに出場した有馬歓生・千寿子選手の戦いぶりなど、大会前半を紹介する。２回連続シリーズの１回目。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2013-032	ろうを生きる難聴を生きる 2012世界ろう者卓球選手権大会　後編	NHK	15	2012/06/03
利用区分				
B−3	「２０１２世界ろう者卓球選手権大会」。この大会では女子が大活躍した。女子団体優勝に引き続き、女子ダブルスで上田萌・佐藤理穂組が優勝、女子シングルスでは、上田が金、佐藤が銀という成績を残した。強豪・中国との接戦の末メダルを勝ち取った二人の戦いぶりを中心に、大会後半を紹介する。２回連続シリーズの２回目。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2013-033	ろうを生きる難聴を生きる めざせ！日本語・手話CG自動翻訳	NHK	15	2012/06/10
利用区分				
B−3	ＮＨＫ放送技術研究所の研究成果を公開する「技研公開」。昨年に引き続き注目を集めたのが、日本語を手話ＣＧに自動翻訳する研究だ。日本語の文章を打ち込むと、ほとんどリアルタイムで手話ＣＧを生成する。研究のポイントは、過去の膨大な翻訳用例などを参照しながら行う翻訳の技術と、手話単語のＣＧとＣＧをなめらかにつなぐ技術の開発だ。日本語から手話ＣＧへ自動翻訳する研究の最新情報を伝える。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2013-034	ろうを生きる難聴を生きる 震災を撮り続ける　～今村彩子さん～	NHK	15	2012/06/17
利用区分				
B−3	今村彩子さんは、映像作家として知られるろう者。東日本大震災が発生してまもなく宮城県に入った。以来、これまでに６回、被災地に入り、被災したろう者の暮らしを撮影し続けている。その映像を編集し、最近完成させたのが「手話で語る３．１１」というＤＶＤ。地震のときのろう学校の様子や、住みなれた地域を離れた仮設住宅での暮らしなどを、ろう者が手話で語る。このＤＶＤの一部を紹介しながら、震災を撮り続ける今村さんに話を聞く。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2013-048	ハートネットTV みつえとゆういち ー親子で紡ぐ“認知症”漫画ー	NHK	29	2012/11/29
利用区分				
A−3	日本の認知症高齢者は３００万人を超え、今多くの人たちがさまざまな困難に直面しながら家族の介護に格闘している。認知症とどう向き合えばよいのだろうか。記憶を失いながら生きるとはどういうことなのだろうか。番組では、自身も認知症の介護の経験がある作家の田口ランディさんとともに、岡野さんの漫画が問いかけるメッセージをひもときながら、認知症介護のあり方を見つめ直す。（ＮＨＫＨＰ参照）			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2014-001	ＪＮＮルポルタージュ（字幕・手話付） 光と音を失った女子大生 -絶望から希望への記録-	ＴＢＳ	25	2013/07/28
利用区分				
B−3	大学生の荒美有紀さんは、視覚と聴覚の重複障害者である「盲ろう者」。美有紀さんは、難病を患い、２年前に視覚と聴覚を失ったが、点字を猛勉強し大学に復学。一方で、３０年間、全くサポートを得られなかった盲ろうの男性もいた。彼の人生には情報を受けることも発信することもできない盲ろう者の困難さと支援の難しさがあった。２人の経験から盲ろう者に対する支援のあり方を考える。（字幕・手話付き　選択可能）手話表現者：小野寺善子			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2014-002	ろうを生きる難聴を生きる “たま手ばこ”の紙芝居１ マボロシノハナ	ＮＨＫ	15	2012/09/30
利用区分				
B−3	「たま手ばこ」は、ろう者の那須善子さんと、聞こえる樋口澄江さん・小泉京子さんの３人が作る、紙芝居と手話語りのグループ。各地のろう学校やイベントに招かれて、公演を続けている。この「たま手ばこ」の公演を２回にわたって紹介する。演目は「マボロシノハナ」。好奇心旺盛な子どもクロとマシロは、ある日大きな川を渡って向こう岸に行く。親から「行ってはいけない」と言われていた場所だ。そこには楽しいことがいっぱいあったが、食いしん坊のマシロが毒草を食べてしまい…。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2014-003	ろうを生きる難聴を生きる “たま手ばこ”の紙芝居２ ユメノシマ	ＮＨＫ	15	2012/10/07
利用区分				
B−3	紙芝居と手話語りのグループ「たま手ばこ」の公演を、前回に引き続き紹介する。今回の演目は「ユメノシマ」。好奇心旺盛な子ども、クロとマシロはある日、洞窟に入った。親から「行ってはいけない」と言われていた場所だ。２人は、そこで出会った海賊船の船長と、ともにユメノシマに出かける。ユメノシマは、甘いお菓子でできた島だった。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2014-004	ろうを生きる難聴を生きる 途上国の障害者とともに～アジア経済研究所　森壮也さん～　前編	NHK	15	2012/10/14
利用区分				
B－3	途上国の障害者の生活を向上させるためには、調査による実態把握と研究が欠かせない。その研究者の１人が、ろう者の森壮也さんだ。森さんは、日本貿易振興機構「アジア経済研究所」主任研究員として、「障害と開発」の分野で１０年間、調査・研究を続けている。その森さんに２回にわたって話を聞く。前編は、途上国で障害のある人の生活を障害のない人の生活と同じように改善していくために必要となる「障害と開発」の視点について伺う。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2014-005	ろうを生きる難聴を生きる 途上国の障害者とともに～アジア経済研究所　森壮也さん～　後編	NHK	15	2012/10/21
利用区分				
B－3	途上国の障害者の生活を向上させるため現地調査を続ける森壮也さんに、前回に引き続き話を聞く。後編は、森さんたちが２００７年から始めたフィリピンの障害者の生計調査から浮かび上がった障害者の深刻な生活実態や、途上国における障害当事者団体の役割、これからの国際協力について伺う。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2014-006	ろうを生きる難聴を生きる “海の魅力を伝えたい” 水族館学芸員　長谷部阿由美さん	NHK	15	2012/10/28
利用区分				
B－3	難聴者の長谷部阿由美（はせべ・あゆみ）さんは、静岡県にある東海大学海洋科学博物館の学芸員。大学で海の生物について学び、「多くの人に海の魅力を伝えたい」と水族館に就職した。魚たちの泳ぎ方チェックや水槽掃除、餌やりなどの日々の業務や、小中学校の体験学習案内など、水族館の仕事に励む長谷部さんの一日を追う。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2014-007	ろうを生きる難聴を生きる 地域のろう者に寄り添って ～ＮＰＯ法人にいまーる１～	NHK	15	2012/11/11
利用区分				
B－3	新潟市のＮＰＯ法人「にいまーる」は、ろう者の就労支援と手話の普及に取り組んでいる。その運営に中心となって取り組むのは、ろう者の臼井千恵さん。臼井さんは、地域活動支援センター「手楽来家（てらこや）」をオープンさせた。「手楽来家」は、聞こえない人たちの就労支援に取り組む。中でも宅配便の会社から受注するメール便の配達は現在３００通にのぼる。聞こえない人たちの仕事ぶりや支援を行うスタッフの活動を紹介する。２回シリーズの１回目。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2014-008	ろうを生きる難聴を生きる 築け！健聴者とのネットワーク ～ＮＰＯ法人にいまーる２～	ＮＨＫ	15	2012/11/18
利用区分				
B－3	新潟市のＮＰＯ法人「にいまーる」の活動を、前回に引き続き紹介する。「にいまーる」の臼井さんは、新潟大学手話サークルや新潟市郊外の公民館での地元手話サークル会員への手話指導や、新潟市のビジネス専門学校で手話の講義を受け持っている。ビジネス専門学校では、去年から手話のスピーチ大会が秋に行われるようになった。大会に向け、出場する学生への指導にあたる臼井さんの姿を追い大会のもようを紹介する。２回シリーズの２回目。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2014-009	ろうを生きる難聴を生きる 聞こえない学生が大学で学ぶために１ 情報保障	ＮＨＫ	15	2012/11/25
利用区分				
B－3	聴覚障害のある学生のために情報保障を行う大学はしだいに増えてきているが、情報保障の量や質はさまざまだ。群馬大学を例に、２人のテイカーが連係して入力し教員の話のほとんどを文字化しようというパソコンテイク、講義のライブ感まで伝えられる手話通訳、聴覚障害のある学生に的確にアドバイスできる支援室などのとりくみを紹介し、情報保障のありかたについて考える。２回シリーズの１回目。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2014-010	ろうを生きる難聴を生きる 聞こえない学生が大学で学ぶために２ エンパワメント	ＮＨＫ	15	2012/12/02
利用区分				
B－3	エンパワメントとは、学生自身が「問題を解決する方法を考え、環境を変えていく力」を高めていくこと。大学の情報保障を充実させるためにも、社会に出て働く準備をする上でも、大学在学中のエンパワメントの機会が重要だと言われる。宮城教育大学で開かれた「聴覚障害学生エンパワメント研修会」に密着、情報保障と並んで大切なエンパワメントについて考える。２回シリーズの２回目。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2014-011	ろうを生きる難聴を生きる ろう重複の子どもを地域で育てる ～ＮＰＯ法人“つくし”１～	ＮＨＫ	15	2012/12/09
利用区分				
B－3	愛知県内で６つの事業所を運営するＮＰＯ法人「つくし」は、ろう重複障害のある大人の支援とともに、学齢期の子どもの支援を行っている。「つくし」の事業所のひとつ「おれんじ」では、手話のできるスタッフが、ろう学校への通学や、子どもの土日の外出に付き添う。「おれんじ」の活動を通して、ろう重複の子どもに対する移動支援の意義を伝える。２回シリーズの１回目。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2014-012	ろうを生きる難聴を生きる ろう重複の子どもを地域で育てる ～ＮＰＯ法人“つくし”２～	ＮＨＫ	15	2012/12/16
利用区分				
B－3	ＮＰＯ法人「つくし」の事業所のうち、ろう重複の子どもの放課後支援を行うのが、名古屋市の「つくしっこ」と豊橋市の「楓（かえで）」。放課後や土日の「活動の場」を提供する取り組みだ。友だちと自由に遊ぶ、友だちや職員の手話に触れる、そうしたことのひとつひとつが、ろう重複の子どもの成長につながっていく。「楓」の活動を通して、ろう重複の子どもに対する放課後等、デイサービスの意義を伝える。２回シリーズの２回目。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2014-013	ろうを生きる難聴を生きる 全国中途失聴者・難聴者福祉大会 ｉｎ埼玉	ＮＨＫ	15	2012/12/23
利用区分				
B－3	さいたま市で開かれた「第１８回全国中途失聴者・難聴者福祉大会」。制度改革、メンタルヘルス、補聴の工夫など、さまざまなテーマについて話し合う分科会と、全体会が行われた。ニーズはあるのに福祉サービスを受けられない「中軽度難聴」の人への支援について考えた「制度改革分科会」（障害の範囲とデシベルダウン運動）を中心に、この大会を紹介する。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2014-014	ろうを生きる難聴を生きる 写真家１　鉄道の輝きを 持田昭俊さん	ＮＨＫ	15	2013/01/20
利用区分				
B－3	ろう者の持田昭俊さんは、２０１２年でプロ活動２５周年となるベテランのカメラマンだ。持田さんは、光と影をたくみに表現したＳＬの写真で知られているが、それと並んで多くのファンを魅了しているのが新幹線の写真。スピード感とフォルムの美しさを表現するために、これまでさまざまな工夫を重ねてきた。持田さんの撮影の様子を紹介しながら、鉄道写真へのこだわりを聞く。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2014-015	ろうを生きる難聴を生きる 写真家２　その人らしさを 齋藤陽道さん	ＮＨＫ	15	2013/01/27
利用区分				
B－3	ろう者の齋藤陽道さんは、新人写真家の発掘をする「写真新世紀」で優秀賞を取るなど、注目される若手カメラマンの１人。１年前に出版された写真集「感動」が評判を呼んでいる。「感動」には障害のある人やお年寄りの写真が並び、「その人でしかありえない日常」が描かれている。視覚障害のある太鼓奏者を撮影する様子を紹介しながら、人物写真へのこだわりを聞く。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2014-016	ろうを生きる難聴を生きる 聴導犬のいる暮らし（1） 安心がそこにある　東彩さんと"あみのすけ"	NHK	15	2013/02/17
利用区分				
B−3	東彩（あずま・あや）さんは、京都生まれ。１０年前に結婚し、夫の転勤で埼玉県へ引っ越してきた。周りの人がいろいろと教えてくれたそれまでと違い孤独感が強く、また聞こえないことから仕事もうまくいかず、聴導犬を利用することにした。聴導犬「あみのすけ」は彩さんに、チャイムやファックスの着信音などさまざまな音を、教えてくれる。去年９月に生まれたばかりの娘・史帆ちゃんの泣き声も知らせてくれる。安心して暮らせるようになった東さん一家の日常を紹介する。２回シリーズの１回目。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2014-017	ろうを生きる難聴を生きる 聴導犬のいる暮らし（2） 自信をくれた 岸本淑子さんと"みかん"	NHK	15	2013/02/24
利用区分				
B−3	岸本淑子さんと夫の宗也さんは、ともに耳が聞こえない。聴導犬「しん」とともに暮らしている。最初の聴導犬「みかん」は、１２年前に岸本家にやってきた。当時、淑子さんはたいへんな人見知りだったが、「みかん」と生活するようになって、家族が驚くほど変わっていった。自分に自信が持てるようになったのだ。「みかん」は、２０１２年７月に亡くなった。岸本さんが「みかん」とともに過ごした日々を振り返る。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2014-018	ろうを生きる難聴を生きる デフリンピック２０１３ 雪辱を誓って ～男子サッカー～前編	NHK	15	2013/03/03
利用区分				
B−3	２０１３年７月２６日～８月４日、ブルガリアのソフィアで、第２２回夏季デフリンピックが開かれた。デフリンピックは、４年に１度開かれる、ろう者のスポーツの祭典だ。金メダルを目指して練習に打ち込む男子サッカーのメンバー。代表候補合宿の様子や、日々の生活の中でトレーニングを重ねる選手の姿を追う。２回シリーズの１回目。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2014-019	ろうを生きる難聴を生きる デフリンピック２０１３ 雪辱を誓って ～男子サッカー～後編	NHK	15	2013/03/10
利用区分				
B−3	前回のデフリンピックで１２位と低迷した男子サッカー。チームはその悔しさを胸に練習を重ね、去年はアジア大会で初優勝した。今回の大会の派遣が決まれば、アジアチャンピオンとしてデフリンピックに挑むことになる。 ２月に鹿児島で行われた代表候補合宿や、仕事をしながらサッカーに打ち込む代表候補選手の日常の姿を伝える。２回シリーズの２回目。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2014-020	ろうを生きる難聴を生きる 聞こえる仲間と最高のダンスを 高木里華さん	NHK	15	2013/03/17
利用区分				
B−3	高木里華さんは、手話パフォーマー。３８歳でＯＬを辞め、専門学校でダンスを学んだ。それまでにない、手話とダンスを融合させた表現をしたいと思ったからだ。以来１０年間、もとの曲の歌詞を自然な手話に移し替える翻訳と、ダンスを取り入れたリズミカルな動きを追求してきた。高木さんは、いま、聞こえる仲間とともに、手話パフォーマンスの公演をしている。聞こえない人と聞こえる人が助け合うことで、よりすばらしいパフォーマンスができると語る高木さんの思いと、ろう学校でのワークショップの様子を紹介する。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2014-021	ろうを生きる難聴を生きる 手話のすすめ 中途失聴した人へ　佐々木あやみさん	NHK	15	2013/03/24
利用区分				
B−3	佐々木あやみさんが聴力を失ったのは２７歳のとき。子ども向けのショーで、司会と歌の仕事をするのが好きだった佐々木さんにとって大きなショックだった。しかし、「中途失聴者のための手話教室」にめぐり会い、通じる喜びを知って元気を取り戻した。佐々木さんは、さまざまな人が気軽に手話を学んだり話せたりする場を作ろうと、「しゅわっとつばさ」という団体を立ち上げ、月１回の集まり「手話しゅわ～」を開いている。中途失聴者、ろう者、聞こえる人が気軽に参加し会話を楽しむ「手話しゅわ～」の様子を紹介しながら、中途失聴した人にとっての「手話」について、伺う。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2014-022	ろうを生きる難聴を生きる もっとループを ～よりよい聞こえのために～	NHK	15	2013/03/31
利用区分				
B−3	「ヒアリングループ（磁気誘導ループ）」は、補聴器や人工内耳に明瞭な音を送り込むためのしくみのひとつ。マイクでひろった音声をアンプで増幅し、輪にした電線に流す。海外では、ホールや駅などの公共施設をはじめ、タクシーの中などにも設置されているが、日本では、ほとんど普及していない。音楽会の会場にループを設置する試みなどを紹介しながら、ループ普及の活動を続ける東工大教授の中村健太郎さんに、ループの可能性について聞く。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2014-023	ろうを生きる難聴を生きる “進化する字幕”を ～要約筆記サークル「まごのて」～	NHK	15	2013/04/07
利用区分				
B−3	名古屋市の要約筆記等研究連絡会「まごのて」は、「名古屋難聴者・中途失聴者支援協会」と連携して、情報保障の取り組みを続けてきた。そのモットーは「進化する字幕」。ユーザーの意見を聞き、情報保障をする「場」を広げ、やりかたを工夫してきた。たとえば、字幕付きプラネタリウム上映では、名古屋市科学館の学芸員の解説に合わせて字幕を出すが、わかりやすい要約、読みやすい行数や字数、色、字を出す位置などを、工夫し、職員のアドリブにもリアルタイムで対応する。字幕付きプラネタリウム上映を中心に、「まごのて」のさまざまなチャレンジについて紹介する。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2014-024	ろうを生きる難聴を生きる デフリンピック２０１３ 初参加！自転車競技	NHK	15	2013/04/14
利用区分				
B−3	ろう者のスポーツの祭典「デフリンピック」に初参加する自転車競技。自転車競技日本代表エースとして、チームをまとめる役割を期待されている得利（とくよし）雄介さんの日々の生活や日本代表候補者の合宿に密着。自転車競技チームの挑戦を紹介する。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2014-025	ろうを生きる難聴を生きる 夢はドラフト ～プロ野球独立リーグ 野呂大樹選手～ 前編	NHK	15	2013/04/28
利用区分				
B−3	野呂大樹選手は、プロ野球独立リーグ「新潟アルビレックス・ベースボール・クラブ」の１番バッター。難聴の野呂選手の夢は、ドラフトに指名されてＮＰＢ（日本野球機構）入りをすること。その夢に向けた挑戦を追う。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2014-026	ろうを生きる難聴を生きる 夢はドラフト ～プロ野球独立リーグ 野呂大樹選手～ 後編	NHK	15	2013/05/05
利用区分				
B−3	独立リーグ３年目を迎えた野呂選手の今期の目標は、ドラフトに指名されてＮＰＢ（日本野球機構）入りすること。彼の武器である俊足を生かした盗塁技術を磨くために、相手投手のくせを見抜いたり、ノートにつけるなどの研究を重ねている。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2014-027	ろうを生きる難聴を生きる デフリンピック2013　ふわっと高く舞い上がれ！～棒高跳び・竹花康太郎さん	NHK	15	2013/05/12
利用区分				
B−3	デフリンピックでメダルを期待されている、棒高跳びの竹花康太郎さん。前回大会は４位、去年の世界ろう者陸上の世界大会では銀メダルを獲得している。竹花さんは横須賀市立ろう学校の先生で、陸上部の監督も務めている。学校での練習の様子や、４月に行われた公式試合の様子を紹介する。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2014-028	ろうを生きる難聴を生きる デフリンピック2013　団体金メダルを目指して　～卓球女子・川﨑瑞恵さん～	NHK	15	2013/05/19
利用区分				
B−3	デフリンピック卓球女子日本チームの新しいホープとして期待されている高校３年の川﨑瑞恵選手。川﨑さんは、埼玉県の普通高校、秋草学園高等学校に通っている。毎日の学校でのハードな練習や、代表選手の強化合宿の様子を中心に、川﨑選手の意気込みを紹介する。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2014-029	ろうを生きる難聴を生きる 補聴器の使いこなし術	NHK	15	2013/05/26
利用区分				
B−3	最近の補聴器の発達はめざましく、不快なハウリングや騒音などの特定の周波数の音の抑制が可能になっている。しかし、補聴器を自分仕様に調整するアフターケアが必要になる。これから補聴器を買おうとする初心者クラスに向けて、補聴器の使いこなし術を紹介する。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2014-030	ろうを生きる難聴を生きる モバイル型遠隔情報保障システムとは？	NHK	15	2013/06/02
利用区分				
B−3	モバイル型遠隔情報保障システムは、教室とパソコンの文字通訳をする情報保障者をスマートフォンでつなぐ。そして先生の声を遠隔地の通訳者が文字に起こして、インターネットを利用して教室にあるスマートフォンに表示する。教育現場での情報保障のあり方を変える可能性を持つこのシステムを紹介する。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2014-031	ろうを生きる難聴を生きる デフリンピック2013 めざせ二連覇 ～ハンマー投げ　森本真敏さん～	NHK	15	2013/06/09
利用区分				
B−3	ハンマー投げの森本真敏さんは、前回のデフリンピックにはじめて参加し、金メダルを獲得した。森本さんは、現在プロバスケットボールチームを運営する会社が立ち上げた財団法人に所属し、自らの記録を更新するために努力を続けている。普段の練習を通して、森本さんの思いを伝える。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2014-032	ろうを生きる難聴を生きる デフリンピック2013　初のメダルを！ ～バスケットボール女子チーム～	NHK	15	2013/06/16
利用区分				
B−3	前々回のメルボルン大会に初出場を果たし、前回の台北大会では６位に終わったバスケットボール女子チーム。今回は初のメダルを目指して大会に臨む。代表合宿や選手の日常を追いながら、メダルを目指すバスケットボール女子チームを紹介する。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2014-033	ろうを生きる難聴を生きる 手話狂言の心を伝える ～日本ろう者劇団の海外公演・前編～	NHK	15	2013/06/23
利用区分				
B−3	日本ろう者劇団は、日本の伝統を伝える狂言をろう者が手話で演じる手話狂言に力を入れている。手話狂言を演じる廣川麻子さんを紹介し、これまでの海外公演でも「日本人の心を感じられた」と評判になっている手話狂言の魅力を伝える。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2014-034	ろうを生きる難聴を生きる 新たな表現を求めて ～日本ろう者劇団の海外公演・後編～	NHK	15	2013/06/30
利用区分				
B−3	言語の違いや、聞こえる聞こえないに関係なく、観客を楽しませることに力を入れてきた日本ろう者劇団。劇団員の砂田アトムさんは、手話でさまざまな演技をする「一人芝居」というパフォーマンスを演じる。彼の日常を紹介しながら、新たな表現を模索する劇団の姿を伝える。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2014-035	ろうを生きる難聴を生きる デフリンピック2013　世界の頂点を目指せ 水泳-今村可奈さん・金持義和さん-	NHK	15	2013/07/07
利用区分				
B−3	デフリンピックでメダルが有望視されている２人の水泳のアスリートを取り上げる。大会初出場ながら、背泳ぎでろうの世界記録を狙う大阪体育大学２年の金持義和さんと、水泳チーム全体のキャプテンを務める今村可奈さん。２人の練習風景を追いながら、デフリンピックにかける思いを聞く。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2014-036	ろうを生きる難聴を生きる 障害者差別を解消するために ～第６１回全国ろうあ者大会ｉｎ山形～	ＮＨＫ	15	2013/07/14
利用区分				
B－3	山形で開催された第６１回全国ろうあ者大会。平成２５年は、障害者総合支援法が施行され、さらに障害者差別解消法が国会で成立した。障害者への差別をなくし権利を守るために、今後何が必要なのか。基調講演やパネルディスカッションの模様を伝える。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2014-037	ろうを生きる難聴を生きる よっしゃ！手話で笑わせたろか ～手話落語家・喜楽舎馬次郎の世界～	ＮＨＫ	15	2013/07/21
利用区分				
B－3	４代目桂福團治の門下に４２歳で入り、９年前に独立したろう者の遅咲きの芸人が喜楽舎馬次郎（きらくやうまじろう）さん。「手話の分からない人も身振りやしぐさで笑わせたい」と語る馬次郎さんの活動や芸を２回シリーズで伝える。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2014-038	ろうを生きる難聴を生きる 喜楽舎馬次郎　～手話落語の世界～	ＮＨＫ	15	2013/07/28
利用区分				
B－3	手話落語家・喜楽舎馬次郎（きらくやうまじろう）さんを紹介するシリーズ２回目。馬次郎さんの芸は、小話や現代落語、古典落語など多岐にわたる。日々の努力から生み出された数多くの作品のうち、「凧（たこ）」と、古典落語「長短」の２作品をご紹介する。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2014-039	ろうを生きる難聴を生きる デフリンピック・メダリストに聞く ～前編～	ＮＨＫ	15	2013/09/01
利用区分				
B－3	デフリンピックの夏季大会に日本からは１４９人の選手が参加し、金メダル２個、銀メダル１０個、銅メダル９個、あわせて２１個のメダルを獲得した。今回から２回にわたって、デフリンピックのメダリストたちの活躍ぶりを紹介する。今回は、男子水泳の金持義和さんと茨隆太郎さんに話を伺う。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2014-040	ろうを生きる難聴を生きる デフリンピック・メダリストに聞く ～後編～	NHK	15	2013/09/08
利用区分				
B−3	デフリンピック夏季大会のメダリストたちを紹介する２回目。今回は、シングルスで金・ダブルスで銀・団体で銅メダルを獲得した上田萌選手をはじめとする卓球女子の４人の選手、そしてハンマー投げの森本真敏選手に話を伺う。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2014-041	ろうを生きる難聴を生きる 災害に備える ～映画「生命のことづけ」から学ぶ～	NHK	15	2013/09/15
利用区分				
B−3	早瀬憲太郎監督の映画「生命のことづけ　―死亡率２倍　障害のある人たちの３・１１―」では、東日本大震災での障害者の死亡率が住民全体の死亡率と比べると２倍だった事実が語られている。早瀬監督と日本障害フォーラム・藤井克徳さんとの対談を通して、災害時に生きのびるためにはどうしたらよいかを考える。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2014-042	ろうを生きる難聴を生きる 災害に備える　～情報を得るために～	NHK	15	2013/09/22
利用区分				
B−3	東日本大震災では、聴覚障害者の防災において、さまざまな課題が浮き彫りになった。その一つとして、緊急情報が聴覚障害者に十分に伝わらなかったことが挙げられる。「みやぎ被災聴覚障害者情報支援センター」（みみサポみやぎ）の活動を通して、災害時の情報入手について考える。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2015-047	ハートネットＴＶ　絆を取り戻したい ～被災地のろう学校・創立１００周年～	NHK	29	2014/11/18
利用区分				
B-3	創立１００周年を迎える宮城県立聴覚支援学校。東日本大震災によって同窓会名簿は失われ、多くの卒業生と連絡が取れない状態となっていた。創立記念式典をきっかけに、失われた絆を取り戻したいと願う卒業生たち。なるべく多くの卒業生に式典に参加してもらうため奮闘する同窓会会長の渡邊征二さんを追う。手話表現者：米内山昭枝　渡邊征二／岩佐廣平／渡辺實			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2015-048	人間開発　　（手話付） 三重苦２０年の記録　前編	ＴＢＳ	18	1964/04/21
利用区分				
B-3	幼い頃に高熱で視覚と聴覚の両方を失ったヤマグチシゲコとアキヤマタダオ。２人は７歳と６歳の時、甲府の盲学校に入った。それまでまったくしつけや教育を受けられず、動物のようだった２人。だが盲学校と東京大学の梅津教授の手により食事や排せつなどの日常生活訓練を受け、少しずつ成長していく。手話表現者：五十嵐由美子　　※この作品の音声には、「おし・つんぼ・めくら」等の差別語が出てきます。これらの差別語は、人権上、現在では使うことの許されないものです。しかしこのＤＶＤでは、記録映像という作品の性質、および制作当時（昭和３９年）の社会状況を踏まえ、音声のまま字幕化しています。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2015-049	人間開発　　（手話付） 三重苦２０年の記録　後編	ＴＢＳ	23	1964/04/28
利用区分				
B-3	シゲコとタダオは生活習慣も身につき、身の回りのことは自分でできるようになった。点字や指文字を覚え言葉を獲得して以来、２人の進歩はめざましかった。抽象的な概念も獲得し、タダオは代数を学ぶまでに成長した。二十歳になったシゲコは東京にいる梅津先生に会いたいと願い、タダオとともに上京しデパートでの買い物を楽しむ。人間とは何か、とりわけ言葉とは何かを考えさせる記録映像。手話表現者：五十嵐由美子　　※この作品の音声には、「おし・つんぼ・めくら」等の差別語が出てきます。これらの差別語は、人権上、現在では使うことの許されないものです。しかしこのＤＶＤでは、記録映像という作品の性質、および制作当時（昭和３９年）の社会状況を踏まえ、音声のまま字幕化しています。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2015-053	五目ごはん　～私たちの生きる道～	Ｓｔｕｄｉｏ ＡＹＡ	82	2012年度
利用区分				
A-3	「ユニバーシティライフ　～ろう・難聴学生の素顔～」（２００６）に出演している５人の卒業生の現在を追ったドキュメンタリー。仕事、結婚、育児など、それぞれが自分の人生を歩んでいる。大学時代に学んだことや出会い、経験が今につながっている。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2015-054	昭和を切り拓いた ろう女性からあなたへ	Lifestyles of Deaf Women ・ Studio AYA	60	2011年度
利用区分				
A-3	近年、聴覚障害者を取り巻く社会環境は少しずつ改善され、ろう・難聴女性の活躍の場も広がってきている。しかしこれらはすべて、先輩たちが苦労して切り拓いてきたものだ。作品では、ろう・難聴女性の諸先輩のお話を伺い、これからの時代を生きる若い人々に、「今後の自分の生き方」を考えるきっかけを提供する。　　藤田孝子／岩田恵子／大槻芳子			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2016-001	ハートネットＴＶ　シリーズ 変わる障害者支援（１） 私のことは私が決める	ＮＨＫ Eテレ	29	2014/12/02
利用区分				
A-3	障害者権利条約の中で注目される理念の１つが自分のことを自分で決める社会の実現である。しかし知的障害者の多くは判断力が不十分であるとして、子どものころから親や周囲に決められた人生を歩む人が多い。誰もが自分で自分のことを決められるための支援について考える。 山田賢治／奥山佳恵			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2016-002	ハートネットＴＶ　シリーズ 変わる障害者支援（２） あなたの決断を支えたい	ＮＨＫ Eテレ	29	2014/12/03
利用区分				
A-3	障害者権利条約が採択され、各国が条約の理念の実現に向け取り組んできている中、日本も自分自身で決められる社会を目指すための障害者支援を模索している。障害者の自己決定を支援する活動例を見ながら支援のあり方を考える。 山田賢治／奥山佳恵			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2016-011	ろうを生きる難聴を生きる 筆談が変わる	ＮＨＫ	15	2014/11/23
利用区分				
B-3	１０月下旬に三重で行われた全国中途失聴者・難聴者大会の分科会で、「ＵＤ手書き」と言われる会話支援機器の使いこなし方が紹介された。ＵＤとはユニバーサルデザインの意味で、タブレットやスマートフォンの画面に指で手書きできるというメモ用アプリだ。大会の模様を伝えながら、筆談最新機器の機能をわかりやすく解説する。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2016-012	ろうを生きる難聴を生きる 絆を取り戻したい　～被災地のろう学校１００周年の同窓会～	ＮＨＫ	15	2014/11/30
利用区分				
B-3	今年、宮城県立聴覚支援学校は、創立１００周年を迎えた。１０月に開催する記念式典のため、同窓会会長を務める渡辺征二さんは、震災の影響で連絡の取れない卒業生を探し、一人でも多くの参加者を呼ぼうと奔走してきた。絆を取り戻そうとする渡辺さん、そしてさまざまな思いを胸に秘め、集まってきた人たちの姿を描く。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2016-013	ろうを生きる難聴を生きる どう育む？日本語力 ～文の仕組みを知る～	NHK	15	2015/01/11
利用区分				
B-3	聞こえない子どもの多くが、日本語力に課題を抱えている。教育現場では様々な取り組みが行われているが、生徒のためにはどんな学習法が必要なのだろうか。各現場の取り組みを２回にわけて紹介する。第１回では、最近注目を集めている文法の学習法を取材する。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2016-014	ろうを生きる難聴を生きる どう育む？日本語力 ～表現力を高める～	NHK	15	2015/01/18
利用区分				
B-3	聞こえない子どもの日本語学習の取り組みを紹介する。第２回目は、語彙を育む方法を考える。紹介するのは、筑波大学附属聴覚特別支援学校で開かれた授業。テレビの天気予報キャスターの言葉を活用して、生活に身近な言葉から、その言葉がもつ「表現」を学ぶ。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2016-015	ろうを生きる難聴を生きる 安心を届けたい ～音を知らせる腕時計～	NHK	15	2015/01/25
利用区分				
B-3	聴覚障害がある齋藤勝さんは、生活に欠かせない音を腕時計に表示する機械を作ろうと、独学で技術を学び、７年の歳月をかけてついに時計型の受信機「シルウオッチ」を開発した。２００９年には、その功績から、総理大臣賞を受賞した。不屈の精神で障害を乗り越えてきた齋藤さんの人生を描く。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2016-016	ろうを生きる難聴を生きる 共に生きやすい社会を ～言葉の壁を越える～	NHK	15	2015/03/01
利用区分				
B-3	東京・本郷に、ろうの店員が接客するスープカフェがある。立ち上げたのは、ろう者の柳匡裕（やなぎまさひろ）さん。客の多くは手話ができない健聴者だが、筆談をしたり、メニューを指さしたりして注文する。前編では「ろう者に接客は無理」という既成概念を壊した柳さんの戦略を紹介する。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2016-017	ろうを生きる難聴を生きる 共に生きやすい社会を ～理想の職場を創る～	NHK	15	2015/03/08
利用区分				
B-3	聴覚障害者の中には、聞こえる人の中で働くうちに、コミュニケーションの難しさから疲れてしまい、働く意欲を失ってしまう人が少なくない。本来持っている能力を生かせずに悩む人たちをどう再生させるか。誰もが主体的に働ける社会を作りたいと願う柳匡裕（やなぎまさひろ）さん。後編ではその人材活用術に迫る。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2016-018	ろうを生きる難聴を生きる 「働く」を見に行こう！ 看護師を目指す学生×中途失聴の医師	NHK	15	2015/03/29
利用区分				
B-3	聞こえない学生が聞こえない先輩の職場を訪ね、働き方や生き方のヒントを学ぶ「働くを見に行こう」。今回は看護師を目指す大学生が、琵琶湖病院精神科・医師の藤田保さんを訪ねる。医療現場で働くために必要な心構えとは何か。聞こえない当事者だからこそできることとは何か。藤田さんの経験から学ぶ。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2016-019	ろうを生きる難聴を生きる 心で感じて踊りたい 手話パフォーマー　中嶋元美	NHK	15	2015/04/25
利用区分				
B-3	手話を使って音楽や踊りの楽しさを伝える劇団「きいろぐみ」。ここに２０歳の花形パフォーマーがいる。中嶋元美さんだ。高校１年生のときに聞こえなくなった中嶋さんは、「きいろぐみ」の手話パフォーマンスと出会い、聞こえなくても音楽を楽しみ、表現できることを知る。人生の一歩を踏み出す彼女の日々を描く。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2016-020	ろうを生きる難聴を生きる この音に心をこめて ～難聴のオカリナ奏者　仲里尚英～	NHK	15	2015/05/02
利用区分				
B-3	沖縄で有名なプロのオカリナ奏者、仲里尚英さん。学生のときから音楽とともに生きてきたが、３３歳のとき原因不明の難聴になり、ステージに立てなくなる。しかし、オカリナなら演奏できることに気づき、今では地元のテレビにも出演。全国各地で演奏活動を行なっている。仲里さんの半生をひもときながら、その情熱あふれる姿を追う。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2016-021	ろうを生きる難聴を生きる 教育にささげた人生 古河太四郎　生誕１７０年	NHK	15	2015/05/09
利用区分				
B-3	明治１１年に京都盲唖院を設立した古河太四郎。聞こえない子どもに言葉を教えるために、かな文字が書かれた板に玉を当てると、文字に対応する絵が飛び出す器具を考案するなど、さまざまな方法で教育を行った。生誕１７０年にあたり、古河太四郎の人生をひもときながら、日本のろう教育の原点に迫る。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2016-022	ろうを生きる難聴を生きる 実験中！「字幕電話」	NHK	15	2015/05/16
利用区分				
B-3	電話の相手の声を字幕に変換するサービスが始まろうとしている。オペレーターが、相手の声を文字に変換、利用者はそれをスマートフォンなどで読むというものだ。サービスを行うのは、一瀬宗也（いちせむねや）さんが社長を務める沖縄のＩＴ企業。字幕電話の仕組みや利用者の日常を取材、その可能性に迫る。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2016-027	ろうを生きる難聴を生きる 知って得する！ イマドキ補聴器最新情報	NHK	15	2015/07/04
利用区分				
B-3	デジタル技術の進歩で高性能な機種が次々に作られている補聴器。その一方で、初めて購入した高齢者からのクレームも増加している。最新機器を紹介するとともに、使いこなすためのポイントもわかりやすく紹介する。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2016-028	ろうを生きる難聴を生きる 聞きやすい声を作れ！ 難聴者向けスピーカー	NHK	15	2015/07/11
利用区分				
B-3	難聴者の聞こえを助ける機器として注目を集めている卓上スピーカーがある。難聴者の聞きやすい音にこだわり、小型化を進めたスピーカーは、難聴学級の授業や窓口での接客などに役立っている。さらに現在は、個々人の聞こえに対応したカスタマイズも進められている。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2016-029	ろうを生きる難聴を生きる 夢はマンガ家！	ＮＨＫ	15	2015/07/25
利用区分				
B-3	ろう者の富嶋まもみさんは、ろう者の体験を４コマ漫画にしてブログで発信し、人気を集めている。昼間は不動産会社に勤めながら、プロのマンガ家を目指す富嶋さん。今夏、初めて雑誌向けに原稿を書くことになり、奮闘する。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2016-035	目撃！日本列島 心をつなぐ“千本ノック” ～盲目の夫婦の日々～	ＮＨＫ Ｅテレ	23	2015/07/04
利用区分				
A-3	目の不自由な人たちの野球・グランドソフトボール。選手たちはボールの転がる音を頼りにプレーする。全盲の脇坂清さん（６６歳）は、同じく全盲の妻・美津江さんとともに、週１回のノックの練習を２６年間続けてきた。盲目の二人がノックに懸ける思いとは何か。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2016-036	ハートネットＴＶ エンジンの鍵みつけた ～発達障害とのはざまで～	ＮＨＫ Ｅテレ	29	2015/09/09
利用区分				
A-3	全国から不登校の小中学生が集まる全寮制の学校に、幼いころ発達障害の疑いが強いと診断された少年が入学してきた。彼は同じ境遇の仲間に心を閉ざしていた。しかし、あることがきっかけで彼は仲間に心を開いていく。 彼の成長の記録と彼を見守る先生と仲間の２年半に及ぶ記録。 嶋中洋行／加藤優衣人			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2016-037	ハートネットＴＶ 私らしい“自立” ～ＮＨＫ障害福祉賞５０年～	ＮＨＫ Ｅテレ	29	2015/12/03
利用区分				
A-3	ＮＨＫ障害福祉賞は、５０年前に始まった障害のある人や支援者の体験を集めた記録である。この記録は半世紀にわたる日本の福祉の歴史でもある。その中の１つである、２７年前に障害福祉賞に入選した脳性まひの女性が、自立とは何かを考え続けた年月を振り返る。 林芳江／山田賢治			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2017-007	ろうを生きる難聴を生きる 限界に挑め 密着！人工内耳アスリート〈前編〉	NHK	15	2015/10/03
利用区分				
B-3	デジタル技術の進歩で高性能な機種が次々に作られている補聴器。その一方で、初めて購入した高齢者からのクレームも増加している。最新機器を紹介するとともに、使いこなすためのポイントもわかりやすく紹介する。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2017-008	ろうを生きる難聴を生きる 限界に挑め 密着！人工内耳アスリート〈後編〉	NHK	15	2015/10/10
利用区分				
B-3	トライアスロンのアイアンマンレースに第二の人生をかける加藤伸一さん。加藤さんの夢は６０歳のときに年代別世界チャンピオンになることだ。北海道で開かれたアイアンマンレースに出場した加藤さんの挑戦を追う。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2017-009	ろうを生きる難聴を生きる 見て笑える芸を　森﨑さんの手話漫談	NHK	15	2015/10/17
利用区分				
B-3	９年間で７１万人が夢中になったブログがある。出演するのは、ろう者の森﨑興蔵さん。日常の出来事を表情豊かな手話で描く手話漫談が人気だ。手話は身体全体で表現するもの。その面白さを知ってほしいという森﨑さんの姿を追う。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2017-022	ろうを生きる難聴を生きる 旅がくれた生きる勇気	NHK	15	2016/03/12
利用区分				
B-3	名古屋市在住の難聴の映画監督・今村彩さん。大学卒業後、耳が聞こえない人を主人公にしたドキュメンタリー映画を制作してきた。そんな彼女が、自身の母の死をきっかけに、聴者に対する心の壁を乗り越えようと、自転車での日本縦断の旅に出る。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2017-023	ろうを生きる難聴を生きる ”わたし”をあきらめない ～光と音をなくした27歳荒美有紀さん～	NHK	15	2016/03/19
利用区分				
B-3	２２歳の時、突然の病で音と光を奪われた荒美有紀（あらみゆき）さん。それから５年、彼女は今、盲ろう者として同じ境遇の人たちのために活動している。前向きに生きる美有紀さんの日常を追う。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2017-024	ろうを生きる難聴を生きる 孤立を防ぐために ～東日本大震災の教訓～	NHK	15	2016/03/26
利用区分				
B-3	東日本大震災から５年。あの日、聴覚障害者はさまざまな困難に直面した。震災での聴覚障害者の死亡率は約２％。全住民の死亡率の２．５倍に上る。災害時、聴覚障害者が取り残されないためにはどうすればいいのか？被災地・宮城で始まった取り組みを紹介する。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2017-025	ろうを生きる難聴を生きる 一緒にがんばろう！ がんと向き合うために	NHK	15	2016/04/09
利用区分				
B-3	皆川明子さんは１０年前、乳がんを患い、「５年生存率３０％」と告げられた。耳の聞こえない皆川さんは、診察時には筆談を用いたが、時間の制約もあり、病気のことを相談できる人がいないことが悩みだった。そこで彼女は、医療情報が得られないろう者どうしが支え合うグループを作った。皆川さんの活動を追う。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2017-034	ろうを生きる難聴を生きる 道を拓く　盲ろう者と盲導犬	NHK	15	2016/07/09
利用区分				
B-3	盲ろう者として、日本で初めて盲導犬の使用を認められた門川紳一郎さん（５１歳）。歩く喜びを手にしたものの、初めての試みゆえ、さまざまな課題に直面する。相棒ベイスとの試行錯誤の日々を見つめる。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2017-035	ろうを生きる難聴を生きる 一歩踏み出したどり着いた頂上 登山家　田村聡	NHK	15	2016/07/16
利用区分				
B-3	２０１６年５月、エベレストの登頂に成功した田村聡さん（５１歳）。田村さんは生まれつき耳がほとんど聞こえない。ろう者の登頂は、日本人で初めての快挙だ。３回目のチャレンジで登頂に成功した田村さんに、どんな苦労を乗り越え成功したのか、お話を伺う。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2017-036	ろうを生きる難聴を生きる 手話と口話 ～ろう教育１３０年の模索～	NHK	15	2016/07/30
利用区分				
B-3	手話は、聴覚に障害のある子どもたちにとって自然に身につけることができる言語だ。けれども日本では、十数年前まで、多くのろう学校で手話は禁止されていた。それまでの約１００年間、日本のろう教育が、アメリカから入った口話教育を主流にしてきたからだ。今回は、日本のろう教育のたどった歴史を見つめる。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2017-037	ろうを生きる難聴を生きる 夫婦で見つけた音の力 ～難聴のトロンボーン奏者～	NHK	15	2016/08/20
利用区分				
B-3	トロンボーン奏者の寺本昌弘さん（４９歳）。１３年前に突発性難聴を発症し、そのため左耳の聴力を失い、耳鳴りにも悩まされている。当初は生きがいだった音楽をあきらめ、失意の日々を過ごしたが、障害と向き合い、２０１４年、コンテストに挑戦、見事日本一に輝いた。ハンディーを乗り越えた寺本さんの日々を見つめる。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2017-038	ろうを生きる難聴を生きる わたしが見た　ろう者の戦争	NHK	15	2016/08/27
利用区分				
B-3	聴覚障害のある人たちは、太平洋戦争中、どう生きたのか？難聴のディレクターが、自らの疑問をもとに調査する。調べる中で明らかとなった数々の差別。なぜそんな社会だったのか？戦争は何をもたらしたのか？先輩たちの証言から当時の実情を学んでいく。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2017-039	ろうを生きる難聴を生きる 心で寄り添う医師を目指して ～研修医　吉田翔～	NHK	15	2016/09/03
利用区分				
B-3	重度の難聴を抱えて医師の道を選んだ吉田翔さん（３２歳）。医師は患者の命を預かるミスの許されない仕事だが、吉田さんには、コミュニケーションの壁が立ちはだかる。患者の心に寄り添う医師になりたい…その思いで仕事に向き合う吉田さん。研修医として歩み始めた吉田さんの１か月に密着する。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2017-040	ファミリーヒストリー　斉藤由貴 （手話・字幕）	NHK	45	2016/11/10
利用区分				
B-3	アイドル歌手としてデビューし、今は女優として映画やテレビ、舞台で大活躍する斉藤由貴さん。そのルーツには壮絶な物語があった。由貴さんの母方の祖父母は聾者だ。祖父・水島吉男さんは１１歳で東京聾唖学校に入学。卒業後は帯の裁縫所で働き、３６歳で独立して自分の店を持った。多くの聴覚障害者を自分の店に雇い、また、日本聾唖協会横浜部会を立ち上げ委員長にも就任した。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2017-041	報道特集　盲ろう児教育の現場 （手話・字幕）	NHK	27	2015/10/31
利用区分				
B-3	視覚と聴覚の両方に障害のある「盲ろう者」。年齢を重ねる中で障害が重複する例が多く、大半が大人だ。子どもは少なく学齢期の盲ろう児は推定で約６００人といわれるが、公的な調査は実施されていない。番組では、盲ろう児たちが学ぶ学校の様子を紹介しながら、盲ろう児教育が抱える課題に迫る。 （字幕・手話付き　選択可能）手話表現者：佐沢静枝			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2017-042	ハートネットＴＶ 笑顔のそばに卓球があった ～ろう者卓球日本一　伊藤優希１７歳～	NHK	29	2015/11/26
利用区分				
B-3	広島県立広島南特別支援学校に通う３年生、伊藤優希君は卓球の日本代表に選ばれた。伊藤君は２０１５年１月に行われた「全日本・全国ろうあ者卓球選手権大会」で史上初の男子シングルス２連覇を達成している。伊藤君が卓球を始めたのは、小学校５年生の時だ。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2017-043	ハートネットＴＶ 静かでうるさい居酒屋	ＮＨＫ	29	2016/02/15
利用区分				
B-3	東京の大久保にある居酒屋「ふさお」はいつもお客さんでいっぱいの人気店。店主自慢の串揚げを片手に盛り上がるお客さんたちだが、よく見ると普通の店と様子が違う。店で飛び交うのは「手話」だ。ろう者の夫婦が営むこの店では手話が「公用語」。ここには憩いを求めてやってくるろう者も、そして手話の魅力にひかれて来る聞こえる人もいる。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2018-001	ハートネットＴＶ　シリーズ 相模原障害者施設殺傷事件 言葉はなくとも　重度知的障害のある人たち	ＮＨＫ	29	2016/12/07
利用区分				
B-3	相模原市の障害者施設「津久井やまゆり園」で、１９人が殺害され２７人が負傷した事件が起きた。容疑者は取り調べの中で「意思疎通ができない人たちを刺した」と語った。ネット上でも「知的障害者は怖い」「何を考えているか分からない」などの声が上がった。知的障害者の思いを知ろうと模索する人たちの活動を追う。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2018-002	ハートネットＴＶ　シリーズ 罪を犯した発達障害者の再出発 第１回　少年院の現場から	ＮＨＫ	29	2017/05/30
利用区分				
B-3	罪を犯した少年たちに立ち直るための教育を行う少年院。罪を犯した少年の中には発達障害や、その疑いがある人もいることが分かった。しかし発達障害は外見では判断しづらく一般の少年と同じ教育が行われてきた。そこで国は発達障害のある少年に対する指導方針を打ち出し配慮ある指導を促した。その成果と課題について考える。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2018-003	ハートネットＴＶ　シリーズ 罪を犯した発達障害者の再出発 第２回　出所、そして社会へ	ＮＨＫ	29	2017/05/31
利用区分				
B-3	障害への支援や配慮が受けられないため罪を犯してしまう人たちがいる。地域生活定着支援センターは、こうした人たちの再犯を防ぐために活動している。中でも先進的な取り組みをしている長崎県の地域生活定着支援センターの取り組みを紹介する。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2018-004	探検バクモン 見えない聞こえない　でもね…	NHK	25	2015/10/28
利用区分				
B-3	爆笑問題がやってきたのは筑波技術大学。ここは日本で唯一、聴覚や視覚に障害がある人だけが通う大学。障害があっても社会でリーダーになれるような人材を育成するため３０年前に設立された。まずは視覚障害者のキャンパスへ。体育館では音を頼りにバスケや卓球を楽しむ学生たちの姿。聴覚障害者のキャンパスでは、聴覚障害者のために工夫された校舎の構造や、さまざまな情報保障を駆使した授業の様子を探る。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2018-010	ハートネットＴＶ　シリーズ 戦後７１年　第２回 わたしが見た“ろう者の戦争”	NHK	29	2016/08/03
利用区分				
B-3	自らも聴覚障害のあるディレクターが、ろう者の戦争体験を取材する。大阪にある聴覚障害者用の老人ホームで、徴兵検査で不適格になり軍需工場に徴用された男性の話を聞く。東京在住の女性は、戦時中満足に教育を受けられなかったために日本語の読み書きや意味をつかむことが苦手だと話す。これら取材映像を元に、視覚障害者を中心に障害者の戦争について調べている盲教育史研究会の事務局長と、３０年にわたり被爆ろう者の証言を集めている手話通訳者、２人のゲストを交えて障害者の戦争について考えていく。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2018-013	ハートネットＴＶ 静かで、にぎやかな学校 ～手話で学ぶ明晴学園～	NHK	29	2017/10/02
利用区分				
B-3	聞こえない子どもたちが手話で学ぶ明晴学園は、静かでにぎやかな学校。ここではすべての授業が手話で行われる。子どもたちの第一言語は手話。小学４年生の手話の授業では、国語の教科書の詩を、言葉の意味を深く考えながら手話で表していく。手話を母語として獲得し、生き生きと言葉を紡ぐ子どもたちの姿を追う。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2018-016	SWITCHインタビュー　達人達Vol.145 宇宙のなかで バリアフリー研究者　福島智 ×生命科学者　柳澤桂子（手話・字幕）	NHK	59	2017/04/22
利用区分				
B-3	視力と聴力を失い、盲ろう者となった福島さん。指点字という方法で勉強を続け、バリアフリー研究者となった。一方柳澤さんは、最先端の遺伝子研究に取り組むが、３１歳の時、突然原因不明の難病に襲われる。以来、病と闘いながら生命科学について思索をめぐらせている。障害や病とたたかってきた２人が、命と存在をめぐる対話を重ねる。（字幕・手話付き　選択可能）手話表現者：森田明			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2018-036	ＲＳＫ地域スペシャル　メッセージ 聴こえない子を救いたい ～岡山かなりや学園～（手話・字幕）	山陽放送	48	2017/04/26
利用区分				
B-3	１９７５年、全国初の私立の難聴幼児通園施設「岡山かなりや学園」が発足した。聞こえなくても会話ができ、将来自立する力を育むことを目的にしている。０歳から６歳までの難聴児を教育し、今までに４００人以上が卒園した。学園出身のダンサーの女性や、通園中の児童の様子を紹介。生後すぐに行われる聴力検査や、人工内耳についても紹介する。（字幕・手話付き選択可能）手話表現者：荒井美香			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2018-037	ＥＴＶ特集 亜由未が教えてくれたこと	ＮＨＫ	60	2017/07/22
利用区分				
A-3	ＮＨＫ青森のディレクター坂川裕野さんの妹・亜由未さんは脳性マヒと知的障害を持つ重度障害者だ。相模原市で起きた障害者殺傷事件をきっかけに、「障害者の家族は不幸ではない」ことを伝えるため、坂川さんは亜由未さんの暮らしを撮影することにする。そして今まで両親に任せていた亜由未さんの介助を１か月間してみることに。両親の苦労、亜由未さんの双子の妹の思い…。重度障害者とともに暮らす家族の姿を描く。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2018-038	ハートネットＴＶ ＷＥＢ連動企画　“チエノバ” これだけは知ってほしい！聴覚障害の悩み	ＮＨＫ	29	2015/06/25
利用区分				
A-3	聴覚障害者といっても、全く聞こえない人から補聴器で少し聞こえる人、生まれつき聞こえない人、途中で聞こえなくなった人などさまざまだ。しかし聴力に違いはあっても、日常生活で不便を感じることに共通点は多い。番組では視聴者から寄せられた意見を紹介しながら、聴覚障害者の抱える悩みについて、ろう者のゲストと共に考えていく。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2019-009	ろうを生きる難聴を生きる ドミニカに届ける未来　廣瀬芽里	ＮＨＫ	15	2017/12/16
利用区分				
B-3	カリブ海の島国ドミニカ共和国。音楽と踊りを愛するこの国で、ろう学校の教師をしている廣瀬芽里（ひろせめり）さん。この国で廣瀬さんが目にしたのは、十分な教育を受けられず仕事に就けないろう者の現実だった。廣瀬さんのドミニカでの聴覚障害者支援の活動を追う。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2019-010	ろうを生きる難聴を生きる 法律施行から間もなく２年 見えてきた変化と課題	NHK	15	2018/01/27
利用区分				
B-3	平成２８年、障害者差別解消法および改正障害者雇用促進法が施行された。施行されてから障害者の状況は変わったのだろうか。番組では聴覚障害者にアンケートを実施し、実例から法律のポイントを改めて考える。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2019-011	ろうを生きる難聴を生きる 聞こえない母と聞こえる母が集う場	NHK	15	2018/02/17
利用区分				
B-3	聞こえないお母さんと聞こえるお母さんが月に２回、障害の有無を越えて集まり、子育ての悩みを話し合う会がある。この会を立ち上げたのは、４人の子を育てるろう者の松本茉莉（まつもとまつり）さん。母親たちの居場所を築こうとする松本さんの日々を見つめる。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2019-012	ろうを生きる難聴を生きる ろうの映画監督　音のある世界を撮る	NHK	15	2018/02/24
利用区分				
B-3	ろうの映画監督、今井ミカさん。今井さんはろう者に向けた無音の映画を作り続けてきた。しかし今回初めて、聴者にも楽しんでもらえる映画を作るために、映画に音を付けることを決めた。目指すのは、ろう者と聴者の壁を取り払うこと。今井さんの映画製作現場に密着する。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2019-013	ろうを生きる難聴を生きる 音声が見える空手道大会	NHK	15	2018/04/07
利用区分				
B-3	聴覚障害者が聴者と対等に戦えるようにさまざまな工夫が施された、国内初となる「音声が見える空手道大会」が開催された。主催したのは、ろうの空手道指導者・高橋朋子さん。聞こえない空手家がどんな大会にも出場できる日を目指して、高橋さんの挑戦は始まったばかりだ。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2019-014	ろうを生きる難聴を生きる 夢に向かって勉強しよう ～開校まもない学習塾の挑戦～	NHK	15	2018/05/05
利用区分				
B-3	２０１７年９月、聞こえない・聞こえにくい子どもたちを対象にした学習塾が大阪で開校。未就学児から高校生まで約３０人が通う。指導スタッフの平均年齢は２６歳。手話や指文字を使っての授業や見て覚えやすい教材を使うなどの工夫をしている。「子どもの良いところを褒めること」を大切に奮闘している。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2019-015	ろうを生きる難聴を生きる 夢はプロのバレリーナ	NHK	15	2018/05/26
利用区分				
B-3	東北地方で開かれたバレエコンクールで１位に輝いたのは聴覚に障害がある小学５年生の菊池海麗（みらい）さん。単純なピアノのメロディは人工内耳で聞き取ることができるが、複雑なリズムの音楽が苦手だ。大きなコンクールに向けてリズムの複雑な課題曲に取り組む海麗さんと家族やバレエ講師の姿を追う。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2019-016	ろうを生きる難聴を生きる 夢に向かって発進　ろうのバス運転士	NHK	15	2018/06/02
利用区分				
B-3	都内を走る一台のリムジンバスの運転席でハンドルを握るのは、ろう者として全国初のバス運転士になった松山建也さん。２０１６年に法律が改正され、ろう者でも一定の条件を満たせば、バスの運転に必要な免許を取ることができるようになった。ろうのバス運転士の道を切り開いていく松山さんを追った。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2019-017	ろうを生きる難聴を生きる もっと速くもっと強く 陸上１００ｍ　佐々木琢磨	NHK	15	2018/06/16
利用区分				
B-3	２０２０年の東京五輪出場を目指す陸上１００ｍの佐々木琢磨選手。２０１７年のデフリンピックでは日本初の金メダルを獲得。ろう者の中で、オリンピックに出場する可能性が一番高いと言われている。聴覚に障害のある後藤佑季リポーターが陸上部に所属した経験から話を聞く。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2019-018	ろうを生きる難聴を生きる 豊かな老後を支える住まいを目指して 全国初　サービス付き高齢者向け住宅	NHK	15	2018/06/23
利用区分				
B-3	札幌市にオープンしたサービス付き高齢者向け住宅「ほほえみの郷」。聴覚障害者向けの自立生活を支えるサービス付き高齢者向け住宅（サ高住・さこうじゅう）としては全国初。手話のできる看護師や介護福祉士が、ひとりひとりの生活背景に添ったきめ細かな対応で生活を支えている。さまざまな困りごとを支えるための取り組みを見つめる。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2019-019	ろうを生きる難聴を生きる どこかに仲間が…いるよ！ ～性的マイノリティーのろう者　菊川れん～	NHK	15	2018/07/07
利用区分				
B-3	「ろうの性的マイノリティーである自分に、仲間や居場所は見つかるのか」と生きづらさを１人で抱えてきたという菊川れんさん。同じ立場の仲間とつながり支え合いたいという思いから、手話講師として働くかたわら「ダブルマイノリティー」への理解を広げるための活動を続けている。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2019-020	ろうを生きる難聴を生きる “教育”で盲ろう者の可能性を広げたい ～ヘレン・ケラー没後５０年に語る～	NHK	15	2018/08/04
利用区分				
B-3	日本の障害者福祉に大きな影響を与えたヘレン・ケラーが亡くなって５０年。障害者の教育分野は進歩したが、ヘレン自身がそうであったように盲ろう者への教育は多くの困難があり、今も充分に整備されていない。国内で唯一盲ろう児の教育を専門に行う横浜訓盲学院の学院長・中澤恵江さんに話を聞く。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2019-021	ろうを生きる難聴を生きる どうする？聞こえない学生への 手話通訳支援	NHK	15	2018/08/18
利用区分				
B-3	この１０年で、大学などに通う聴覚障害のある学生の数は１．４倍に増加。しかし高度な内容を手話通訳できる人材が不足している。こうした課題に対して群馬大学では学生を手話通訳者の卵として育てる授業を新設、大阪大学では手話通訳者を対象にしたスキルアップセミナーを開催した。聞こえない学生の学びを支えるにはどうすれば良いのか考える。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2019-022	ろうを生きる難聴を生きる 故郷の手話を守りたい ～愛媛県・宮窪町～	NHK	15	2018/09/29
利用区分				
B-3	瀬戸内海に浮かぶ愛媛県・大島の宮窪町に、聞こえる人もろう者も関係なく、手話で会話してきた珍しい地域がある。この手話は他の地域にはない独自のもので、国際的にも注目されている。しかし近年、使い手が激減。故郷の手話を守ろうと奮闘する地元出身のろう者矢野羽衣子さんの活動を追った。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2019-023	バリバラ 聴覚障害の家族　コミュニケーション	NHK	29	2017/09/03
利用区分				
B-3	今回は、聴覚障害のある人と家族の関係にスポットをあてる。聞こえない子どもと聞こえる親。逆に聞こえない親と聞こえる子ども。どうコミュニケーションをとり、どのように子育てをすればいいのか、と悩む親たち。幼児向け手話教室を訪れた２家族をゲストに、コミュニケーションのあり方を考える。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2019-024	バリバラ 耳がきこえない人にとっての 音楽について考える	NHK	29	2018/10/21
利用区分				
B-3	「耳がきこえない人が楽しめる音楽」はつくれるのか？歌やコントを通して手話を広める活動をしているｏｉｏｉ（オイオイ）の耳が聞こえないメンバー「のぶ」と「りょーじ」の２人がこの難題に挑む。どうやったら視覚的に音楽を楽しむことができるのか。耳が聞こえない人と音楽について考える。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2019-025	ハートネットＴＶ　（手話付加） 故郷の言葉を守りたい ～日本の“消滅危機言語”～	NHK	29	2018/10/17
利用区分				
B-3	世界中で多くの言葉が消滅の危機に瀕している。日本学術会議での報告では、話し言葉だけではなくろう者にとっての言語である手話も同じ危険性があるという。瀬戸内海に浮かぶ愛媛県大島の漁師町で使われている宮窪手話や鹿児島県沖永良部島で話されている方言など、故郷の言葉を守る人々の取り組みと言語の未来について考える。（字幕・手話付き　選択可能）手話表現者：野口岳史			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2019-026	ハートネットＴＶ　（手話付加） 日本の「盲ろう者」その歴史と未来 ～ヘレン・ケラー没後５０年に福島智が語る～	ＮＨＫ	29	2018/10/24
利用区分				
B-3	８７歳で亡くなったヘレン・ケラーは生前三度来日し、日本の障害者福祉の発展に大きな影響を与えた。日本では１９９１年に全国盲ろう者協会が設立されたが、まだ支援は十分とはいえない。盲ろう者として日本で初めて大学に進学し、東京大学教授を務める福島智さんと、横浜訓盲学院の中澤恵江学院長をゲストに迎え、盲ろう者の歴史と未来について考える。（字幕・手話付き　選択可能）手話表現者：荒井美香			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2019-028	ＥＴＶ特集 静かで、にぎやかな世界 ～手話で生きるこどもたち～	ＮＨＫ	59	2018/05/26
利用区分				
A-3	東京都品川区にある私立明晴学園は、聞こえない・聞こえにくい子どもたちが、手話で学ぶ学校。そこでは授業も休み時間の会話も子どもたちの大事な会議も、すべて手話が飛び交い実ににぎやかだ。番組では、ろう者として手話とともにのびのびと生きる子どもたちの姿と、大学で「聴者の社会」に直面する卒業生の姿を追う。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2019-029	ハートネットＴＶ　シリーズ 認知症　当事者とつくる新時代 第１回　絶望から権利へ	ＮＨＫ	29	2017/06/27
利用区分				
A-3	２０１７年４月に京都で開かれた認知症についての世界最大の国際会議。この会議に大きな影響を与えてきたのが、認知症当事者のクリスティーンだ。彼女は当事者として、公の舞台で自分の考えを語り、認知症への見方を変えてきたことで有名だ。そして今、日本でも当事者が声を上げ始めている。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2019-030	ハートネットＴＶ　シリーズ 認知症　当事者とつくる新時代 第２回　パートナーと見つけた希望	ＮＨＫ	29	2017/06/28
利用区分				
A-3	丹野智文さんは３９歳で若年性アルツハイマー型認知症と診断された。今、認知症への見方を変えようと、各地を飛び回る丹野さんの傍らには、活動を手伝うために常に同行する人がいる。家族でもない、介護者でもない「仲間（パートナー）」。希望を探して歩む丹野さんと仲間たちの記録。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2019-031	ハートネットＴＶ　シリーズ “ゲーム障害”　ＬＩＶＥ相談 治療と対策	ＮＨＫ	29	2018/05/30
利用区分				
A-3	オンラインゲームなどに熱中し生活に支障をきたす症状を「ゲーム障害」という。ＷＨＯ（世界保健機関）は新たな病気として国際疾病分類に加える見通しだ。当事者や家族の悩み、疑問、体験談を募集し生放送で相談に応える。治療の現場を紹介しながら、対策や予防について考える。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2019-032	ハートネットＴＶ　シリーズ 平成がのこした“宿題”　「災害弱者」	ＮＨＫ	29	2019/03/06
利用区分				
A-3	平成の３０年間では阪神・淡路大震災、東日本大震災など数多くの災害が起きたが、避難や復興から取り残される高齢者や障害者など「災害弱者」が顕在化した。国は自治体に対して「災害時要援護者の避難支援ガイドライン」を示したが縦割り行政の中では思うように進まない。悲劇を繰り返す社会の課題とその解決の端緒を探る。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2020-001	ハートネットＴＶ　ＮＨＫハート展 手話・ままのめ	ＮＨＫ	29	2019/10/22
利用区分				
A-3	障害のある人がつづった詩に、著名人が作品を寄せるＮＨＫハート展。知的障害を伴う自閉症のある岩元優真さん（１４）にとって、詩は周囲の人に自分の言葉を伝えられる数少ない機会。二人三脚で奮闘する母との日常を独特の表現で描く。聴覚障害のある駿河富子さん（６８）は、幼いころ言葉に傷つき、詩を書く中で自らの人生を取り戻してきた。 詩に込められたそれぞれの人生を見つめる。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2020-002	ハートネットＴＶ 亜由未が教えてくれたこと　２０１９	ＮＨＫ	29	2019/11/20
利用区分				
A-3	障害者と暮らす家族の本音、共に生きる幸せとは何か。３年前の相模原障害者殺傷事件を機に、重度の障害者の妹・亜由未さんにカメラを向けるＮＨＫディレクターの記録。この夏、２年ぶりに亜由未さんと向き合う兄。妹の症状や環境の変化、介助する親の老いなど、多くの問題を目の当たりにしながら、家族とは何かを模索する。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2020-007	バリバラ　密着！盲ろうライフ （字幕・手話付き　選択可能）	NHK	29	2018/09/02
利用区分				
B-3	キーハウスでは、２０代から６０代の盲ろう者１０人が生活している。住人は支援者のサポートや通訳による情報保障を得て、自分たちの生活を自分たちで決めている。まだまだ課題も多いが、解決方法もみんなで話し合って決めていく。その暮らしに密着した。 （字幕・手話付き　選択可能）手話表現者：江副悟史			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2020-008	バリバラ　にしくんプレゼンツ 世界のマイノリティーツアー 前編（字幕・手話付き　選択可能）	NHK	29	2018/09/23
利用区分				
B-3	バリバラがついに世界進出。にしくんが世界のマイノリティーたちを紹介する。まず訪れたのは内戦や貧困が原因で障害者が多いウガンダ。にしくんを待ち受けていたのはスーパーポジティブな人たちだった。インドネシアのバリ島では、誰もが手話を話す村を取材。この村では買い物や病院など全てにおいて手話が通じ、学校では全ての授業に手話通訳が付く。 （字幕・手話付き　選択可能）手話表現者：江副悟史			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2020-009	バリバラ　にしくんプレゼンツ 世界のマイノリティーツアー 後編（字幕・手話付き　選択可能）	NHK	29	2018/09/30
利用区分				
B-3	前回に続いて、にしくんが世界のマイノリティーたちを紹介する。インドでは、男でもない女でもない「第３の性」キンネルのコミュニティーを取材。キンネルは厳しい戒律を守りながら集団で暮らしている。ウガンダで、にしくんが訪ねたセバビさんは「醜い顔コンテスト」で優勝し一躍有名になった。靴修理の仕事をしながらコメディアンとしても活動している。 （字幕・手話付き　選択可能）手話表現者：江副悟史			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2020-027	守ちゃんとよしえちゃん 二人のかまぼこ板日記	南海放送	45	2017/09/17
利用区分				
B-3	愛媛県西大洲のおしゃれスポット菊池理容室の店主・守（もり）ちゃんと、その妻よしえちゃん。難聴の守ちゃんは理容師歴５４年の大ベテラン。よしえちゃんの趣味はかまぼこ板に絵を描くことだ。 ２人の暮らしはのんびり、焦らず。いろいろと大変なこともある人生だけど、笑顔で頑張っている。難聴の夫と明るい妻の暮らしを追ったドキュメンタリー。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2020-028	ハートネットＴＶ 手話で楽しむみんなのテレビ！ ～おはなしのくに編～	NHK	29	2019/08/21
利用区分				
A-3	ハートネットＴＶでは、今回「おはなしのくに」２作に手話をつけて放送。渡辺直美さんふんする「きんたろう」と熊の相撲対決は、手話でどう表現されるのか。壇蜜さん出演の「つるのおんがえし」で、鶴の鳴き声や機織りの音はどう手話になるのか。聞こえない人も、聞こえる人もみんなで見てほしい、ＮＨＫ初の手話エンターテイメント番組。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2020-029	ハートネットＴＶ 手話で楽しむみんなのテレビ！ ～ドキュメント７２時間編～	NHK	29	2019/08/28
利用区分				
A-3	「いろんな番組を手話で楽しみたい」という、ろう者・難聴者の声から、ＮＨＫ初の手話エンターテインメントに「ハートネットＴＶ」が挑戦。今回は、「ドキュメント７２時間～海が見える老人ホーム～」に手話をつけて放送。吹石一恵さんのナレーションや、人々の人生が垣間見える一言はどう表現されるのか？シンガーソングライター・松崎ナオさんが歌う７２時間テーマ曲「川べりの家」と、手話パフォーマーのコラボレーションも！			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2020-030	ハートネットＴＶ 手話で楽しむみんなのテレビ！ ～昔話法廷編～	NHK	29	2020/02/19
利用区分				
A-3	ＮＨＫの人気番組に手話がつく「手話で楽しむみんなのテレビ！」。今回は、Ｅテレで話題となったドラマ「昔話法廷」に手話をつけて放送。「さるかに合戦」をモチーフに、カニの親子を殺した猿が法廷で裁かれる。死刑を求めるカニの子ども、涙声で謝罪する猿のセリフを、ろう者たちが手話で表現する。ＮＨＫ初の手話つきドラマ、果たしてその仕上がりやいかに？手話のできる芸人・河本準一さんをナビゲーターに迎えてお送りする。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2020-031	ハートネットＴＶ 手話で楽しむみんなのテレビ！ ～サンドのお風呂いただきます編～	NHK	29	2020/02/26
利用区分				
A-3	ＮＨＫの人気番組に手話がつく「手話で楽しむみんなのテレビ」第２弾！今回は、サンドウィッチマンが各地の家庭風呂をいただきながら人々と触れ合う、湯けむり人情バラエティー「サンドのお風呂いただきます」。会話のテンポが速く、音楽も効果音も盛りだくさん。にぎやかだから面白いバラエティーを、どうやって手話で表現する？？新たな魅力を帯びた「サンドのお風呂いただきます」をお届け！			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2021-001	文字の獲得は光の獲得でした 作家 柳田邦男が読む いのちの手記	NHK	49	2021/01/24
利用区分				
A-3	ＮＨＫとＮＨＫ厚生文化事業団が主催する「ＮＨＫ障害福祉賞」には、身体障害や精神障害などと向き合う人たちから半世紀にわたり１万３千以上の手記が寄せられてきた。長年、この賞の選考委員をつとめてきた作家　柳田邦男さんは、それを「人間理解の宝庫」という。そこには苦悩や偏見を乗り越え人生を切り開いてきた人々の真実の言葉がある。番組では柳田さんとともに過去の受賞者４人を訪ねる。人生に立ちはだかる壁を「文字で表現すること」を通して越えてきた人々の体験から、私たちは何をくみとることができるのか。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2021-002	ハートネットＴＶ　晋平太と挑む！ ”手話×ラップ”プロジェクト	NHK	29	2019/08/07
利用区分				
B-3	世界的なラッパーのステージで活躍する手話通訳者がいる。フィンランドでは手話による巧みなラップで世界中に衝撃を与えた耳の聞こえないラッパー・サインマークがメジャーデビューした。そして日本で聞こえない人にラップを届けたいと考えたのがラッパーの晋平太だ。晋平太と共にプロジェクトに参加するのは、ラップ初挑戦の聞こえない女子学生２人。聞こえない２人が持つ強いメッセージを自分たちにしかできないやり方で表現する。２か月にわたる『手話×ラップ　プロジェクト』に密着			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2021-005	ハートネットＴＶ　盲ろうの教授 福島智　障害者殺傷事件を考える （字幕・手話付き　選択可能）	NHK	29	2020/04/20
利用区分				
B-3	２０１６年、神奈川県相模原市の知的障害者施設「津久井やまゆり園」で起きた元職員による障害者殺傷事件。障害者としての使命を果たそうとしてきた盲ろうの福島教授にとって、この事件は自分の存在の根底をも揺るがす出来事だった。なぜ犯人は「意思疎通できない障害者は生きる価値がない」と考えるに至ったのか。事件の裁判をとおして福島教授が考える。（字幕・手話付き　選択可能）手話表現者：森田明			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2021-010	バリバラ ”きょうだい”の悩み （字幕・手話付き　選択可能）	NHK	29	2018/12/16
利用区分				
B-3	今回のテーマは「きょうだいの悩み」。「きょうだい」とは、障害のある人の兄弟姉妹を指す。番組で「きょうだい」の声を募集すると、「きょうだいを好きになれない」「将来、面倒は誰がみるのか」など、心の叫びが寄せられた。 　自身も障害のある姉を持つ番組のディレクターが、このテーマに向き合った。（字幕・手話付き　選択可能）手話表現者：佐沢静枝			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2021-025	ろうを生きる難聴を生きる ４３４人のアンケートから考える 今私たちができること　前編	NHK	15	2020/04/25
利用区分				
B-3	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、ろう者・難聴者が悩んでいることや困っていることを番組で緊急アンケート。当事者や専門家とともに、全国から寄せられた４３４人の声や、この状況を乗り切る知恵や工夫も紹介する。そして、これから私たちにできることを考える。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2021-026	ろうを生きる難聴を生きる ４３４人のアンケートから考える 今私たちができること　後編	NHK	15	2020/05/02
利用区分				
B-3	新型コロナウイルスの影響により私たちの生活に大きな影響が広がっている。番組が行ったアンケートに寄せられた、ろう者・難聴者の悩みや困りごととは。専門家とオンラインでつないで解決する方法を考える。さらに孤独を解消する工夫や若い世代の授業や就活での悩みにも答えていく。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2021-027	ろうを生きる難聴を生きる 私はできる、諦めない ～盲ろうの新人教員～	NHK	15	2018/09/30
利用区分				
B-3	日本ではほとんど例のない盲ろうの教師となった橋本紗貴さん。中学２年生の時に難病に襲われて聴覚障害、視覚障害、さらに四肢障害を負った。高校生の頃に自身の経験から教員になる夢を抱くようになり、さまざまな機器を駆使して学び続けて、ようやく念願の教員になった。橋本さんの新人教師としての挑戦を追った。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2021-028	ろうを生きる難聴を生きる 孤立する盲ろう者を テクノロジーで救いたい	NHK	15	2020/07/18
利用区分				
B-3	新型コロナウイルスの影響で孤立を余儀なくされている盲ろう者たち。移動や意思疎通の際には通訳・介助者との接触が避けられない。そんな中、手と手を触れあうことなく指点字ができる機器の開発が進んでいる。試作と改善を重ねて、より自然に感じられるように改良を続けている。実用化を目指す最前線を追った。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2021-029	ろうを生きる難聴を生きる 楽しく身につく！　”目で聴く”英語	NHK	15	2020/08/08
利用区分				
B-3	苦手意識を持つ人が多い英語。ろう者の英語講師・袖山由美さんは、ろう者が英語を学ぶには視覚的に捉えることが必要だと、ＡＳＬ（アメリカ手話）を使って英語を教えている。袖山さんの教室で身につけた英語力で独立して会社を立ち上げた受講生や、英語の曲にＡＳＬを付けた手話シンガーなどもいる。「目で聴く英語」の魅力に迫った。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2021-030	MBSドキュメンタリー　映像´０１ つれあい　丹後・味土野物語 （字幕・手話付き　選択可能）	毎日放送	49	2001/05/20
利用区分				
B-3	京都府弥栄町味土野（みどの）は５軒７人が暮らす過疎の村である。この村で自給自足の生活を続ける梅木好彦さんは手話と点字を学び、障害者の交流会で盲ろうの辻本久代さんと出会った。触読手話で語り合いお互いを理解する２人が、２００１年４月に結婚するまでの過程を描く。（字幕・手話付き選択可能）手話表現者：米内山昭枝			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2021-031	ハートネットTV　＃隣のアライさん 「これだけは知ってほしい！ ”統合失調症”のこと」	ＮＨＫ	29	2020/04/22
利用区分				
A-3	さまざまなマイノリティーのアライ（味方・理解者）を増やそうと始まった番組「＃隣のアライさん」。第１回は統合失調症の人たちの「これだけは知ってほしい」に迫る。統合失調症の人たちの悩みや関係の作り方について、クイズを通じて理解を深める。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2021-032	ハートネットTV　＃隣のアライさん 「これだけは知ってほしい！ ”摂食障害”のこと」	ＮＨＫ	29	2020/06/24
利用区分				
A-3	今回は、摂食障害への理解を深め、拒食や過食に悩む人たちの味方になることを目指す、隣のアライさん。 摂食障害の原因は、体重コントロールのためのダイエットであると思われがちだが、単にその行為が問題なだけでなく、その行為の奥にある精神的な問題も大きく関わっている。そのため、摂食障害を乗り越えるためには、周囲のサポートも欠かせない。正しい知識を持って、アライさんを目指そう。			

分類番号	作　品　名	制作など	分	放送年月日
DA2021-033	ハートネットTV　＃隣のアライさん「これだけは知ってほしい！”てんかん”のこと」	ＮＨＫ	29	2020/09/23
利用区分				
A-3	てんかんは１００人に１人が発症するといわれる身近な疾患だが、発作の一種である「けいれん」のイメージから、強い偏見や過剰な配慮に悩みを抱えている人が多い。疾患の基礎知識や発作時にはどうすればいいのかなど、てんかんへの理解を深め、アライ（味方・理解者）を目指す。当事者の経験談からどのようなアライが求められているのを考える。			